

PC98-NX SERIES



VA70H/RX · VA70H/RS

活用ガイド <u>ハードウェア編</u>

本機の機能

周辺機器を使う

システムの設定





このマニュアルは、パソコンの取り扱い方法について説 明するものです。

周辺機器やオプションを接続してパソコンを拡張する場合、パソコンの設定を変更する場合などに、このマニュア ルをご利用ください。

2001年 5月 初版

対象機種

VA70H/RX、VA70H/RS

このマニュアルの表記について

このマニュアルでは、パソコンを安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています。

▲ 警告 注意事項を守っていただけない場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示します。



咸雷注着

注意事項を守っていただけない場合、人が傷害を負う可能性が想 定されること、または物的損害のみの発生が想定されることを示しま す。

注意事項を守っていただけない場合、発生が想定される障害または 事故の内容を表しています。左のマークは感電の可能性が想定され ることを示しています。このほかに、毒物注意、破裂注意、高温注意 についても、それぞれ記載しています。

このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります。



このマニュアルで使用している表記の意味

FAXモデム内蔵モデル	FAXモデムを内蔵しているモデルのことです。
LAN内蔵モデル	LANインターフェイスを内蔵しているモデルのことです。
14.1型モデル	14.1型の液晶ディスプレイを搭載しているモデルのことです。
12.1型モデル	12.1型の液晶ディスプレイを搭載しているモデルのことです。
CD-ROMモデル	CD-ROMドライプを内蔵しているモデルのことです。
CD-R/RWモデル	CD-R/RWドライブを内蔵しているモデルのことです。
Windows Meモデル	セットアップ時にWindows Meを選んでセットアップしたモデルのこと です。
Windows 98モデル	セットアップ時にWindows 98を選んでセットアップしたモデルのこと です。
Windows 2000 Professionalモデル	Windows 2000 Professionalがあらかじめインストールされているモ デルのことです。
[]	【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。
「スタート」ボ <i>タ</i> ン 「プログラム」 「アクセサリ」 「メモ帳」	「スタート」ボタンをクリックし、現れたポップアップメニューから「プロ グラム」を選択し、横に現れるサブメニューから「アクセサリ」 「メモ 帳」を順に選択する操作を指します。
「 コントロー ル パネル 」 を開く	「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル をクリックする操作 を指します。 Windows Meモデルで、「コントロールパネル」の画面に操作したい アイコンが表示されていない場合は、「すべてのコントロールパネルの オプションを表示する。 をクリックしてアイコンを表示させてください。

本文中の表記	正式名称	
Windows	次のいずれかを指します。	
	・Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版	
	・Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system 日本語版	
	・Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system 日本語版	
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版	
Windows 2000, Windows 2000 Professional	Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system 日本語版	
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system 日本語版	
インターネット エクスプローラ	Microsoft® Internet Explorer 5.5 または Microsoft® Internet Explorer 5.01	

このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

このマニュアルで使用しているイラストと画面

・本機のイラストや記載の画面は、モデルによって異なることがあります。

・本書に記載の画面は、実際の画面とは多少異なることがあります。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラ ムの基準に適合していると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進の ための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えた製品の開発、普 及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。 対象となる製品は、コンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、 それぞれの基準ならびにマーケ、ロゴ」は参加各国の間で統一されています。

技術基準等適合認定について

このパーソナルコンピュータは、電気通信事業法第50条第1項の規定に基づく技術基準等適合認定を受けています。申請回線と認定番号は次のとおりです。なお、専用回線等との接続は、一般のお客様には行えませんので、必ずご購入元にご相談ください。

対象機種	モデル	電話回線
VA70H/RX VA70H/RS	FAXモデム内蔵モデル	A99-1259JP

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置 です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信 機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱い をしてください。

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人電子情報技術産業協会のパソコン業界基準(PC-11-1988)に適合しております。

瞬時電圧低下について

[バッテリパックを取り付けていない場合]

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。 電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。

[バッテリパックを取り付けている場合]

本装置にバッテリバック実装時は、社団法人電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの 瞬時電圧低下対策ガイドラインを満足しますが、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不 都合が生じることがあります。

レーザ安全基準について

本機には、レーザに関する安全基準(JIS・C-6802、IEC825) クラス1適合のCD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブが内蔵されています。

ご注意

(1)本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。

- (2)本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3)本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお 気づきのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBIT-INN、またはNECパソコンインフォメーションセ ンターへご連絡ください。落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。ご購入元までご連絡ください。
- (4)当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらず いかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- (5)本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備 や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害な どが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6)海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7)本機の内蔵ハードディスクにインストールされているMicrosoft。Windows。 Me、Microsoft。 Windows。 98、Microsoft。Windows。 2000は本機でのみご使用ください。また、本機に添付の CD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでしかご利用になれません(詳細は「ソフトウェアのご使 用条件」および「ソフトウェア使用条件適用一覧」をお読みください)。
- (8)ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の 侵害となります。
- (9)ハードウェアの保守情報をセーブしています。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Outlook、Windows MediaおよびWindowsのロゴは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。 Celeronは、Intel Corporationの商標です。 cdmaOneは、CDGの登録商標です。 Hayesは、米国Hayes Microcomputer Productsの登録商標です。 MNPは、Microcom, Inc.の登録商標です。 PS/2は1BM社が所有している商標です。 SymantecおよびpcAnywherelt、Symantec Corporationの米国における登録商標です。 その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

©NEC Corporation 2001 日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

輸出に関する注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。 本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。 また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。

本製品の輸出(個人による携行を含む)については、外国為替および外国貿易法に基づいて経済産業省の許可 が必要となる場合があります。 必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。 輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせ下さい。

Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards.NEC will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan.NEC does not provide maintenance service nor technical support for this product outside Japan.

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law.Export without necessary permit is punishable under the said law.Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

目 次

PART

本機の機能 15
各部の名称
表示ランプ19
表示ランプの名称と役割 19
ワンタッチスタートボタン 21
ワンタッチスタートボタンを使う21
ワンタッチスタートボタンの設定を変更する
キーボード
キーの名称
キーの使い方
+
NX ハット
NXパッドの使い力
NXパッドの設定をする
内蔵八ードディスク
ハードディスク使用上の注意 32
ハードディスクの購入時の状態 32
領域の確保とフォーマット
FA132ファイルンステムの利用
フロッピーディフクドライブ 20
クロッピーフィスンドフィフ
使用できるフロッピーディスクの種類
使用上の注意
CD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ
各部の名称と役割44
使用できるディスク44
使用上の注意 45
液晶ディスプレイ46
表示を調整する
デュアルディスプレイ機能51

バッテリ	. 53
バッテリで本機を使うときの注意	. 53
充電のしかた	. 54
バッテリ残量の確認	. 55
バッテリリフレッシュ	. 56
バッテリパックの交換	. 58
省電力機能	. 60
省電力機能とは	. 60
省電力機能使用上の注意	. 61
スタンバイ状態(サスペンド)にする	. 63
休止状態(ハイバネーション)にする	. 64
スタンバイ状態または休止状態から復帰(レジューム)する	. 65
省電力機能の設定をする	. 66
休止状態の設定の解除と再設定(Windows 98のみ)	. 70
電源の自動操作	. 72
セキュリティ機能	. 73
本機のセキュリティ機能	. 73
パスワード	. 73
スマートカード / 指紋認証ユニット	. 76
その他のセキュリティ機能を使う	. 77
サウンド機能	. 78
ボリュームコントロールを起動する	. 78
表示項目を切り替える	. 78
内蔵モデム	. 80
電話回線との接続	. 80
ダイヤル設定のしかた	. 82
通信機能使用上の注意	. 84
携帯電話/PHS接続機能	. 86
携帯 雷話または PHSとの 接続	86
接続先を設定する	. 87
ダイヤル設定のしかた	. 87
携帯電話 / PHS 接続機能使用上の注意	. 90
いろいろなデータ通信を行う	. 90
LAN(ローカルエリアネットワーク)	. 92
、 LANへの接続	. 92
	. 94
本機の運用管理	. 95

PART	周辺機器を使う99
2	接続できる周辺機器100 本体に接続できる周辺機器一覧100
2	周辺機器の利用102 周辺機器利用上の注意102
	プリンタ
	プリンタの接続107 プリンタの設定108
	マウス109
	別売のマウスの設定方法109
	NX バッドを使用する設定に戻す115 他社製のマウスドライバを使用するときの注意118
	外部ディスプレイ
	CRTディスプレイの接続 119
	プロジェクタの接続
	外部ティスフレ1の設定
	PCカート
	ビロードのセットのしかたと取り出し方 125
	PCカードの設定127
	メモリ
	メモリ容量について128
	メモリの取り付け方と取り外し方 128
	USBコネクタ 134
	USBとは134 USBコネクタに接続する134
	その他の機器138
	本機で使用できるその他の機器
	ンリアルコネクタ 138 パラレルコネクタ 139
	マウス / テンキーボード用コネクタ

PART	システムの設定 141
3	BIOS セットアップメニュー 142 BIOSセットアップメニューを使ってできること 142 BIOSセットアップメニューを使う 142 BIOSセットアップメニューを使う 142 BIOSセットアップメニューを使う 143 工場出荷時の値に戻す 144 設定項目一覧 145 起動順位の設定 149
PART	付録 151
4	本機のお手入れ
	サウンド機能について(Windows Meモデルのみ)155 機能一覧161 仕様一覧161 内蔵FAXモデム機能仕様164 携帯電話 / PHS接続機能仕様166 内蔵LAN機能仕様167
	割り込みレベルとDMAチャネル168 割り込みレベルとDMAチャネルについて168
	索引 171



本機の機能

本機の各部の名称といろいろな機能について説明しています。

各部の名称

本機の各部の名称と配置について説明しています。それぞれの機能や取り扱い方については、参照ページをご覧ください。

本体前面



本体背面



本体底面





表示ランプの名称と役割



バッテリ充電ランプ(日)

ランプ		状態
	点灯	バッテリ充電中
オレンシ	点滅	バッテリのエラー
消灯		ACアダプタが接続されていない、または充電完了

: バッテリを取り付けなおしてもエラーが出るときは、バッテリリフレッシュを行ってください (p.56)

電源ランプ(**Z**^z)

ランプ		状態	
43	点灯	電源が入っている	
溆	点滅	スタンバイ状態(サスペンド)	
黄点灯		バッテリ容量が少ない	
消灯		電源が切れている、または休止状態(ハイバネーション)	

アクセスランプ(日)

ランプ	状態
緑点灯	ハードディスクにアクセス中
消灯	ハードディスクにアクセスしていない

フロッピーディスクアクセスランプ(💾)

ランプ	状態
緑点灯	アクセス中
消灯	アクセスしていない

キャップスロックキーランプ(🛕)

ランプ	状態
緑点灯	【Caps Lock】がロックされている 英字を入力すると大文字になります。
消灯	【Caps Lock】がロックされていない 英字を入力すると小文字になります。

スクロールロックキーランプ(🔂)

ランプ	状態	
緑点灯	【Scr Lock】がロックされている	
消灯	【Scr Lock】がロックされていない	

ニューメリックロックキーランプ(1)

ランプ	状態
緑点灯	【Num Lock】がロックされている キーを押すとキー前面の文字が入力されます。
消灯	【Num Lock】がロックされていない キーを押すとキー上面の文字が入力されます。

ワンタッチスタートボタン

ワンタッチスタートボタンを使うと、ボタンを押すだけで、あらかじめ設定したアプリケーションを起動することができます。

ワンタッチスタートボタンを使う

本機には次のワンタッチスタートボタンがあります。

【インターネット】ボタン、【メール】ボタン

【インターネット】ボタン、【メール】ボタンを押すと、すぐにアプリケーションを起動するように設定できます。

参照 ワンタッチスタートボタン 「各部の名称 (p.16)

購入時は、それぞれのボタンを押すと、「インターネット接続ウィザード」が起動 します。

起動するアプリケーションを変更したい場合は、「ワンタッチスタートボタンの 設定」で行います。

✓ チェック! Windows 98のMS-DOSモードで起動した場合や、セーフモードなど、Windows のキーボードドライバが動作しない状態では、ワンタッチスタートボタンの機能 は使えません。

ワンタッチスタートボタンの設定を変更する

「ワンタッチスタートボタンの設定」では、どのアプリケーションをワンタッチス タートボタンで起動させるかを設定できます。

ワンタッチスタートボタンでは、アプリケーションを「同時 または「順次」に起動 することもできます。「同時」は、ひとつのボタンに複数のアプリケーションを割 り当てて一度に起動する方法です。「順次」は、はじめに登録したアプリケー ションを終了すると次のアプリケーションが順次起動する方法です。

1 「スタート」ボタン 「プログラム」「ワンタッチスタートボタンの 設定」「ワンタッチスタートボタンの設定」をクリックする 「ワンタッチスタートボタンの設定」画面が表示されます。

インジケータ領域 タスクトレイ)にある 、 をダブルクリックして起動すること もできます。 参照 / ワンタッチスタートボタンの設定 「ワンタッチスタートボタンの設定 ヘルプ」

「ワンタッチスタートボタンの設定 ヘルプ」は「スタート」ボタン 「プログラム」 「ワンタッチスタートボタンの設定」「ワンタッチスタートボタンの設定 ヘル プ」をクリックすると表示できます。

アプリケーションを割り当てる

ここでは、例として【メール】ボタンに「メモ帳」を割り当てる方法を説明します。

チェック? ショートカット(拡張子が.Inkのファイル)で、プロパティの「ショートカット」タブの「リンク先」に何も表示されていないファイルは、ワンタッチスタートボタンに登録してもショートカットが実行されません。
登録後正常に実行されない場合は、そのショートカットを右クリックし、プロパティの内容を確認してください。

- 1 「ワンタッチスタートボタンの設定」を起動する
- 2「ボタン設定」タブをクリックする
- 3 「ボタン1」の下の一種をクリックする
- 4 「スタートメニュー」タブをクリックする
- 5 「プログラム」フォルダをダブルクリックする
- 6 「アクセサリ」フォルダをダブルクリックする
- 7 「メモ帳. Ink」を「プログラム1」ボックスにドラッグ&ドロップする ボタン名称が「メモ帳」と表示されます。
- 8 「OK」ボタンをクリックする
- **9**「0K」ボタンをクリックする
- 10 「はい」ボタンをクリックする

ワンタッチスタートボタンの有効 / 無効を切り替える

次の操作でワンタッチスタートボタンの有効 / 無効を切り替えることができます。

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」「ワンタッチスタートボタンの 設定」で、「ワンタッチスタートボタンを無効にする」または「ワン タッチスタートボタンを有効にする」をクリックする ワンタッチスタートボタンが無効の状態のときは「ワンタッチスタートボ タンを有効にする」が表示され、有効の状態のときは「ワンタッチスター トボタンを無効にする」が表示されています。
- 2 ワンタッチスタートボタンを有効または無効にするメッセージが 表示されたら「はい」ボタンをクリックする
- 3 再起動を促すメッセージが表示されたら「はい」ボタンをクリック する パソコンが再起動します。

再起動後、ワンタッチスタートボタンの有効 / 無効が切り替わります。

キーボード

キーボードの基本的な使い方を説明します。

キーの名称



- ① 【Esc】: エスケープキー
- (P1)~(F12): ファンクションキー
- ③【Ins】: インサートキー
- ④ 【Del】: デリートキー
- ⑤ 【Pause】: ポーズキー
- ⑥ 【Num Lock】: ニューメリックロックキー (19) スペースキー
- ⑧ 【Enter】: エンターキー(リターンキー)
 ⑨ 【 11 】: Windowsキー
- ④【Home】: ホームキー
- 10 【PgUp】: ページアップキー
- ① 【PgDn】: ページダウンキー
- ① 【Shift】: シフトキー
- (13) 【 】 】 】
 (13) 【 】 】
 (13) 【 】 】
 (13) 【 】 】
 (14) 月
 (15) 月

- (1) 【Ctrl】: コントロールキー
- 15【] 【] 】: アプリケーションキー
- (16) 【AIt】: オルトキー
- ① 【カタカナ ひらがな】: かなキー
- (18) 【変換】: 変換キー

- ②【Fn】: エフエヌキー
- (23) 【Caps Lock】: キャップスロックキー
- 24 【Tab】: タブキー
- ⑧ 【半角/全角】:半角/全角キー

キーの使い方

特殊なキーの使い方

キー操作	説明
【Num Lock】	ー度押すとニューメリックロックキーランプ が点灯し、キー前面に青で表示されている 数字や記号を入力できるようになります。 もう一度押すとニューメリックロックキーラ ンプが消灯し、キー上面の文字が入力でき るようになります。
【Shift】+【Caps Lock】	ー度押すとキャップスロックキーランプが 点灯し、アルファベットを入力すると大文字 が入力されます。 もう一度押すとキャップスロックキーランプ が消灯し、アルファベットを入力すると小文 字が入力されます。
【Alt】+【半角 / 全角】 または 【半角 / 全角】	ー度押すと日本語入力システムがオンに なり、日本語が入力できるようになります。 もう一度押すと日本語入力システムがオフ になり、日本語が入力できなくなります。
【Alt】+【カタカナ ひらがな】	日本語入力システムがオンになっているとき、一度押すとかな入力モードになり、キー 上面のかな文字で日本語を入力できるようになります。もう一度押すとローマ字入力 モードになり、キー上面のアルファベットの 組み合わせで日本語を入力できるように なります。
[Caps Lock]	日本語入力システムがオンになっていると き、一度押すと英数字が入力されるように なります。
【カタカナ ひらがな】	日本語入力システムがオンになっていて 英数字が入力されるモードになっていると き、一度押すとひらがなやカタカナを入力 できるようになります。
[Fn]	他のキーと組み合わせて機能を実行しま す(p.26)。

ホットキー機能(【Fn】の使い方)

【Fn】と他のキーを組み合わせることで、本機の設定をキー操作で簡単に調整することができます。これをホットキー機能といいます。 組み合わせが可能なキーとその機能を表すアイコンは、【Fn】と同じ色(青) でキー上面に印字されているものもあります。

キー操作	機能	説明
【Fn】+【F3】	ディスプレイの 切り替え (_//回)	別売のCRTディスプレイが接続されてい るとき、キーを押すごとに「液晶ディスプレ イとCRTの同時表示」「液晶ディスプレ
		イ」「CRI」の順に切り替わります。
【Fn】+【F5】	画面の伸縮	低解像度時に、ディスブレイの画面を拡 大表示する/しないを切り替えます。
【Fn】+【F6】	音量調節 (ག୬/ག୬)	スピーカからの音量をオン / オフに設 定します。
【Fn】+【F8】	輝度を上げる (▲☆)	キーを押すごとに、液晶ディスプレイの 輝度が増加します(8段階)。
【Fn】+【F9】	輝度を下げる (▼ <u>Q</u>)	キーを押すごとに、液晶ディスプレイの 輝度が低下します(8段階)。
【Fn】+【F12】	スクロールロック	【Scr Lock】の役割
[Fn]+[lns]	プリントスクリーン	【Prt Scr】の役割
【Fn】+【Del】	システムリクエスト	【Sys Rq】の役割
【Fn】+【 🗃 】	右Windows	右【 📰 】の役割
<pre>[Fn]+[Pause]</pre>	Break	【Break】の役割
[Fn]+[Home]	End	【End】の役割

:表示色を1677万色に設定しているときは、画面の拡大はできません。

【Fn】+【F3】~【F6】で設定した内容は、電源を切ったり再起動したりすると解除されます。また、スタンバイ状態や休止状態にしても設定した内容は解除されます。

キーボードの設定をする

1 「コントロールパネル」を開き、「キーボード」アイコンをダブルク リックする

「キーボードのプロパティ」が表示されます。

「キーボードのプロパティ」ウィンドウでは、ウィンドウ左上の各タブを選択する と、キーボードの設定を行うことができます。 それぞれの設定について詳しくは、Windowsのヘルプをご覧ください。

NXパッド

本機には、ポインティングデバイスとしてNXパッドが内蔵されています。NX パッドは、コントロールパネルを使ってより使いやすいように設定できます。

NXパッドの使い方



これらのボタンで操作の確定などを行います。

・クリックボタン

画面上のボタンやアイコンにポインタをあわせて、左のクリックボタンを押す ことを「クリック」、すばやく2回続けて押すことをダブルクリックといいます。 右のクリックボタンを1回押すことを右クリックといいます。

・パッド

パッド上で指を動かすと、指の動きにあわせて画面上のポインダ、カーソ ル)が動きます。パッドを指先で軽くたたくと、クリックボタンを押したときと 同じ操作になります。また、2回連続してパッドをたたくと、ダブルクリックと 同じ操作になります。パッドを軽くたたいて、クリックと同じ操作をすること をタップといいます。

ドラッグするときは、アイコンやフォルダの上にポインタをあわせ、左クリックボタンを押したまま、パッドの上で指を動します。クリックボタンを使わずに、アイコンやフォルダにポインタをのせた状態で、パッドを軽くたたき、そのまま指を動かしてドラッグすることもできます。

NXパッドの便利な使い方

タップやパッドのみでのドラッグなどのほかにも、次のような便利な使い方が できます。

- ・パッド上で指をすべらせることで画面をスクロールさせる(パッド上にスク ロール領域を設定します)
- ・キーボードからの入力時に、間違えてタップしたりポインタが動くことがない ようにNXパッドを無効にしておく

これらの機能を利用するためには、NXパッドドライバをインストールする必要 があります。インストール手順については、次の「NXパッドドライバをインストー ルする」をご覧ください。

NXパッドドライバをインストールする

NXパッドドライバのインストールは次の手順で行います。

Windows Me/Windows 98の場合

- 1 「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする
- 2 「デバイスマネージャ」タブをクリックする
- 3 マウス」の左の手をクリックする
- 4 現在セットアップされているマウスを選択し、「プロパティ」ボタン をクリックする
- 5 「ドライバ タブをクリックし、「ドライバの更新 ボタンをクリックする 「デバイスドライバの更新ウィザード が起動します。
- 6 次の操作を行う
 - Windows Meの場合
 「ドライバの場所を指定する(詳しい知識のある方向け)」を選択し、
 「次へ」ボタンをクリックする
 - ・Windows 98の場合 「次へ」ボタンをクリックする

7 次のものを選択し、「次へ」ボタンをクリックする

- ・Windows Meの場合 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を表示し、インストールす るドライバを選択する」
- Windows 98の場合
 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」
- 8 「ディスク使用」ボタンをクリックする
- **9**「C:¥NXPAD」と入力し、「OK」ボタンをクリックする
- **10**「モデル」のリストの中から「NX PAD」を選択し、「次へ」ボタンを クリックする 「NX PAD」が複数表示されている場合は、一番上の「NX PAD」を

'NX PAD」が複数表示されている場合は、一番上の'NX PAD」を 選択してください。

▼ チェック!「ドライバ更新の警告」画面が表示された場合は、「はい」ボタンをクリックします。

- 11 「次へ」ボタンをクリックする ファイルのコピーが行われます。 この操作以降は、マウスポインタが動かない場合があります。その場合 は、キーボードで操作してください。
- 12 「完了」ボタンをクリックする
- 13 再起動を促すメッセージが表示された場合は、「いいえ」ボタンを クリックする
- **14**「NX PADのプロパティ」または「NX PADプロパティ」画面の「閉 じる」ボタンをクリックする
- 15 「システムのプロパティ」画面の「閉じる」ボタンをクリックする

16 本機を再起動する

再起動後、設定が有効になります。

◆チェック! 再起動後、ポインタが動かない場合は【Ctrl】を押しながら【Esc】を押して「ス タート」メニューを表示させ、Windowsを起動しなおしてください。項目の変更は カーソル移動キー、項目の選択は【Enter】で行うことができます。

Windows 2000の場合

- 1 「Administrator」でログオンする
- 2 使用中のアプリケーションをすべて終了する
- **3**「コントロールパネル」を開き、「マウス」アイコンをダブルクリック する
- 4 「ハードウェア」タブをクリックし、現在使用しているマウスを選択してから「プロパティ」ボタンをクリックする 現在使用しているマウスのプロパティ画面が表示されます。
- **5**「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」ボタンをクリック する
- 6 「次へ」ボタンをクリックする
- 7 「このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択 する」を選択して、「次へ」ボタンをクリックする
- 8 「ディスク使用」ボタンをクリックする
- 9 「参照」ボタンをクリックする
- **10**「ファイルの場所」に「C:¥WIN2K¥NXPAD」フォルダを指定する
- 11 「Apfiltr.inf」を選択してから「開く」ボタンをクリックする
- 12「OK」ボタンをクリックする

13「NX PAD」をクリックし、「次へ」ボタンをクリックする

- 14「次へ」ボタンをクリックする 必要なファイルがコピーされます。 「デジタル署名が見つかりませんでした」画面が表示された場合は、 「はい」ボタンをクリックしてください。
- 15 「完了」ボタンをクリックする
- 16「閉じる」ボタンをクリックする 「システム設定の変更」画面が表示されます。
- **17**「はい」ボタンをクリックする 本機が再起動します。

NXパッドの設定をする

WindowsでNXパッドをより使いやすく設定することができます。

1 「コントロールパネル」を開き、「マウス」アイコンをダブルクリック する

「マウスのプロパティ」が表示されます。

「マウスのプロパティ」ウィンドウでは、ウィンドウの左上の各タブを選択すると、NXパッドの設定を行うことができます。

それぞれの設定について詳しくは、Windowsのヘルプをご覧ください。

内蔵ハードディスク

ハードディスクとは、Windowsやアプリケーションなどのソフトウェアや、作成したデータを磁気的に記録して、読み出すための装置です。

ハードディスク使用上の注意

本機に内蔵されているハードディスクは、非常に精密に作られています。 特に、データの読み書き中(アクセスランプの点灯中)には、少しの衝撃が故 障の原因となる場合がありますので、ご注意ください。

ハードディスクが故障すると、大切なデータが一瞬にして使えなくなってしま うことがあります。

特に、自分で作成した大切なデータなどは、再セットアップしても元どおりに はできません。大切なデータは、フロッピーディスクやCD-R、CD-RWなどの、 ハードディスク以外の媒体に定期的にバックアップ(コピー)をとっておくこと をおすすめします。

FAT32ファイルシステムを使用するときの注意

FAT32を使用するときは、次の注意事項を確認してから使用してください。

- FAT32はWindows Me、またはWindows 98モデルにインストールされて いるWindows Me、Windows 98で使うことができます。
- ・別売のソフトウェアによっては正しく動作しないことがあります。
- スキャンディスク、バックアップ、およびデフラグなど、「アクセサリ」の「シス テムツール」にあるディスク管理ツールはFAT32に対応しています。ただ し、「ドライブスペース」でFAT32のドライブを圧縮することはできません。

ハードディスクの購入時の状態

購入時、本機のハードディスクは次のように領域確保されています。

モデル	Cドライブ	Dドライブ
Windows Meモデル	FAT32ファイルシステム (約4Gバイト)	FAT32ファイルシステム (残りの領域)
Windows 98モデル	FAT16ファイルシステム (約2Gバイト)	FAT32ファイルシステム (残りの領域)
Windows 2000 Professionalモデル	FAT32ファイルシステム (約4Gバイト)	NTFSファイルシステム (残りの領域)

領域の確保とフォーマット

ハードディスクの領域を削除した場合などには、ハードディスクの領域の確保 とフォーマットが必要です。

Windows Me/Windows 98の場合

領域の確保

- 1「MS-DOSプロンプト」画面でFDISKと入力し、【Enter】を押す
- 2「大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか(Y/N)」と表示 されたらYを入力する FAT32ファイルシステムで領域を作成します。 FAT32について詳しくは、「FAT32ファイルシステムの利用(p.37)をご覧ください。 Nを入力した場合は、FAT16ファイルシステムで領域を作成します。 最大2Gバイトまでの容量をひとつのドライブとして扱えます。
- 【1】を入力し、【Enter】を押す
 領域を作成する画面が表示されます。
- 4 【2】を入力し、【Enter】を押す
 - 「領域のサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください 拡張MS-DOS領域を作ります」と表示されます。
- - 5 [Enter]を押す
 - 「拡張MS-DOS領域を作成しました .」と表示されます。
 - **6**【Esc】を押す
 - 「論理ドライブのサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力して ください」と表示されます。
 - 7 サイズを入力して【Enter】を押す 「論理MS-DOSドライブを作成しましたドライブ名は変更または追加 されました」と表示されます。

8 拡張MS-DOS領域がなくなるまで手順9を繰り返し、すべての拡張MS-DOS領域を論理ドライブに割り当てる「拡張MS-DOS領域の使用可能な領域はすべて論理ドライブに割り当てられています」と表示されます。

9【Esc】を3回押す

「C:¥WINDOWS>」の表示に戻ります。

10「EXIT」と入力し、【Enter】を押す Windowsの画面に戻ります。

11 本機を再起動する

フォーマット

領域を確保したら、続いてハードディスクをフォーマットします。

- ✓ チェック! すでに使用されているドライブをフォーマットすると、そのドライブに保存されていたすべてのデータが消えてしまいます。フォーマットをする際は、十分注意してください。
 - 1 マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックする
 - 2 新たに領域を確保したドライブをクリックする
 - **3**「ファイル」メニュー「フォーマット」をクリックする フォーマットの画面が表示されます。
 - 4 「通常のフォーマット」をクリックする
 - 5 「開始」ボタンをクリックする 確認の画面が表示されます。
 - 6 「OK」ボタンをクリックする フォーマットが始まります。 しばらくすると、フォーマットが終了してフォーマットの結果の画面が表示されます。
 - 7 「閉じる」ボタンをクリックする スキャンディスクの実行を促す画面とヘルプが表示されます。

- 参照 スキャンディスクについて 『活用ガイド ソフトウェア編』PART3の「ハードディ スクのメンテナンス」
 - 8 「OK」ボタンをクリックする
 - 9 「フォーマット」の画面をクリックする
 - 10 「閉じる」ボタンをクリックする
 - 11 ヘルプの内容に従って、スキャンディスクを実行する 複数の領域を確保したいときは、手順2~11の操作を繰り返してくだ さい。

Windows 2000の場合

ここでは、ハードディスクの拡張パーティションの作成と論理ドライブの作成に ついて説明します。プライマリパーティションの作成方法などについては、 「ディスクの管理」のヘルプをご覧ください。

領域の確保とフォーマット

- 1 「コントロールパネル」を開き、「管理ツール」アイコンをダブルク リックする 「管理ツール」ウィンドウが表示されます。
- 2 「コンピュータの管理」アイコンをダブルクリックする 「コンピュータの管理」ウィンドウが表示されます。
- 3 画面左側にある「ツリー」の中の「ディスクの管理」をクリックする 表示された画面で、ハードディスクの容量や領域、ファイルシステムを 確認してください。
- 4 画面右下に表示されている「未割り当て」を選んで右クリックする

ハードディスクに未割り当ての部分がない場合は表示されません。すでに 使用しているドライブのパーティションの削除などについては、「コンピュー タの管理」のヘルプをご覧ください。

5 表示されたメニューから、「パーティションの作成」をクリックする 「パーティションの作成ウィザード」ウィンドウが表示されます。

- 6 「次へ」ボタンをクリックする
- 7「拡張パーティション」の◎をクリックして◎にし、「次へ」ボタン をクリックする 拡張パーティションとして使用できる最小サイズと最大サイズが表示 されます。
- 8 作成する拡張パーティションのサイズを入力して、次へ」ボタンを クリックする 指定されたサイズのパーティションが作成されます。
- 9 「完了」ボタンをクリックする

ハードディスクの未割り当て領域がなくなるまで手順4~9をくりかえし、すべての領域を割り当ててください。割り当てられた領域は、「ディスクの管理」 ウィンドウでは「空き領域」と表示されます。続いてフォーマットを行います。

10 画面右下に表示されている「空き領域」を選んで右クリックする

- チェック
 すでに使用しているドライブをフォーマットすると、そのドライブに保存していた
 データがすべて消えてしまいます。フォーマットする際は、十分注意してください。
 - 11 表示されたメニューから、「論理ドライブの作成」をクリックする 「パーティションの作成ウィザード」が表示されます。
 - 12「次へ」ボタンをクリックする
 - 13 「次へ」ボタンをクリックする 論理ドライブとして使用できる最小サイズと最大サイズが表示されます。
 - 14 作成する論理ドライブのサイズを入力し、「次へ」ボタンをクリッ クする
 - 15 表示されたドライブ文字の割り当てを確認して「次へ」ボタンをク リックする 「パーティションのフォーマット」が表示されます。
16 フォーマットの設定を確認して「次へ」ボタンをクリックする 必要であれば、フォーマットの設定を変更してください。フォーマットが はじまります。

17 「 完了 」ボタンをクリックする これで、フォーマットが完了しました。複数のドライブをフォーマットした い場合は、手順10~17をくりかえしてください。

- チェック? ・新たにパーティションの作成を行った後、「コンピュータの管理」ウィンドウを 閉じるど「ワトソン博士」のエラーメッセージが表示される場合がありますが、 新たなパーティションは使用できます。
 - ・「パーティションの作成ウィザード」の項目を入力し、「完了」をクリックすると、 新しいパーティションの作成後、「ボリュームは開かれているか、または使用中 です。要求を完了できません。」というようなメッセージが表示される場合があ ります。この場合は、以下の手順でパーティションの初期化を行ってください。

新たに作成したパーティションを右クリックし、「フォーマット」をクリックする 項目を設定し、「OK」ボタンをクリックする 「OK」ボタンをクリックする

FAT32ファイルシステムの利用

FAT32を利用するには

FAT32を利用するには、「FDISK」コマンドを使用してFAT32ファイルシステムで領域を作成します。

また、Windows 98では「ドライブコンバータ(FAT32)」を利用することで、 FAT16のドライブをFAT32に変換することもできます。「ドライブコンバータ (FAT32)」について詳しくは、Windowsのヘルプをご覧ください。

「FDISK」コマンドでFAT32の領域を作成する

- ┦「MS-DOSプロンプト」画面でFDISKと入力し【Enter】を押す
- **2**【Y】を押して【Enter】を押す

3 領域を作成する

512Mバイト以上の領域を作成すると、その領域にはFAT32が適用されます。作成した領域が512Mバイトよりも小さいときには自動的に FAT16が適用されます。 4「FDISK」を終了し、本機を再起動する

5 作成したドライブをフォーマットする

ハードディスクのメンテナンス

本機には、ハードディスクの障害を検出したり、アクセス速度を保つためのメ ンテナンスソフトが組み込まれています。 ハードディスクに障害や断片化があった場合、可能な範囲で修復することが できます。

参照 ハードディスクのメンテナンス 『活用ガイド ソフトウェア編』PART3の「ハー ドディスクのメンテナンス」

フロッピーディスクドライブ

本機には3.5インチフロッピーディスクドライブが内蔵されています。

各部の名称と役割



使用できるフロッピーディスクの種類

本機では、次の形式のフロッピーディスクでデータの読み書きやフォーマット、 ディスクコピーを行うことができます。

ディスクの種類	容量	読み書き	フォーマット	ディスクコピー
フロッピーディスク (2DD)	640KB	×	×	×
	720KB			
フロッピーディスク (2HD)	1.2MB	1 2	1	1
	1.44MB			

:使用可能

×:使用不可

- :Windows 2000でのみ使用可能
- 1: Windows 2000で使用するには3モード対応フロッピーディスクドライバのセットアップが必要です。「Windows 2000でフロッピーディスクドライブを使用するときの注意 (p.41)をご覧ください。
- 2: Windows Meで使用するには3モード対応フロッピーディスクドライバのセットアップが必要 です。添付の「アプリケーションCD-ROM」の中に入っているSETUPME.TXTをご覧になり、 セットアップを行ってください。

EドライブにCD-ROMをセットした場合

E: ¥WIN98¥3MODEFD3¥SETUPME.TXT

使用上の注意

- 本機では、PC-9800シリーズのパソコンでフォーマットされたフロッピーディ スクを使ってシステムを起動することはできません。
- 「ディスクのコピー」のコピー先のフロッピーディスクは、コピー元のフロッ ピーディスクと同じ容量でフォーマットされたものを使用してください(これ はMS-DOSプロンプトのDISKCOPYコマンドでも同様です)。
- ・フォーマットしていないフロッピーディスクをマイコンピュータなどで選択すると、フロッピーディスクドライブのアクセスランプが点灯し続けたり、フォーマットしようとするとフォーマット開始までの時間が長くかかる場合があります。これは、フロッピーディスクの種類を判別しているためなので、処理が開始されるまでしばらくお待ちください。
- ・Windows Me / Windows 98を使用している場合、MS-DOS Ver.6.2以前のFORMATコマンドでフォーマットしたフロッピーディスクを、MS-DOS プロンプトからDISKCOPYコマンドでディスクコピーすることはできません。「マイコンピュータ」の「3.5インチFD」アイコンを右クリックし、「メニュー」から「ディスクのコピー」を実行してください。
- Windows Me / Windows 98を使用している場合、2DDのフロッピーディ スクを720KBでフォーマットしたときは、いったんフロッピーディスクを取り 出し、もう一度入れ直してから使用してください。フォーマット後に、フロッ ピーディスクを入れ直さずにファイルを書き込もうとすると、フォーマットが正 常に終了していても、エラーが発生する場合があります。クイックフォーマッ トされたフロッピーディスクの場合は、この手順は必要ありません。
- ・フロッピーディスクを書き込み、または読み取り中は、フロッピーディスクア クセスランプ(凹)が点灯します。アクセスランプ点灯中は、絶対にフロッ ピーディスクを取り出さないでください。ドライブの故障やデータの不具合 の原因となります。

Windows 2000で1.2Mバイトのフロッピーディスクの読み書きやフォーマットをする場合、3モード対応フロッピーディスクドライバのセットアップが必要になります。セットアップは、Administrator権限のあるユーザでログオンして行ってください。

3モード対応フロッピーディスクドライバのセットアップ

- 1 「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする
- **2**「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタンを クリックする
- **3**「フロッピーディスクコントローラ」の「標準フロッピーディスクコン トローラ」をダブルクリックする
- 4 「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」ボタンをクリック する
- 5 「デバイス ドライバのアップグレードウィザードの開始」と表示されたら、「次へ」ボタンをクリックする
- 6 「デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択し、「次へ」 ボタンをクリックする
- 7 「場所を指定」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 8 CD-ROMドライブに「アプリケーションCD-ROM」をセットし、「製造元のファイルのコピー元」に「D:¥WIN2K¥VIA」と入力して「OK」ボタンをクリックする

チェック! ここではCD-ROMドライブをDドライブとして説明しています。実際と異なる場合は、ドライブ名を読み替えてください。

9 「次のデバイスのドライバが検索されました」と表示されたら、「別のドライバを1つインストールする」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする

10 リストの一覧から次のドライバを選択し、「次へ」ボタンをクリック する

VIA 3-mode floppy controller

- 11 「デバイスドライバのアップグレードウィザードの完了」と表示されたら、「完了」ボタンをクリックする
- 12 「閉じる」ボタンをクリックする
- 13 本機を再起動する
- 14 再起動後、「コントロールパネル」を開き「システム」アイコンをダ ブルクリックする
- **15**「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタンを クリックする
- 16 「フロッピーディスクドライブ」の「フロッピーディスクドライブ」を ダブルクリックする
- 17 「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」ボタンをクリック する
- **18**「デバイス ドライバのアップグレードウィザードの開始」と表示されたら、「次へ」ボタンをクリックする
- 19 「デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択し、「次へ」 ボタンをクリックする
- 20「場所を指定」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- **21**「製造元のファイルのコピー元」に「D:¥WIN2K¥VIA」と入力し、 「OK」ボタンをクリックする
- 22 「次のデバイスのドライバが検索されました」と表示されたら、「別のドライバを1つインストールする」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする

23 リストの一覧から次のドライバを選択し、「次へ」ボタンをクリック する

VIA 3-mode floppy disk drive

- 24 「デバイスドライバのアップグレードウィザードの完了」と表示されたら「完了」ボタンをクリックする
- 25 「閉じる」ボタンをクリックする
- **26** 再起動を促すメッセージが表示されたら、CD-ROMドライブから 「アプリケーションCD-ROM」を取り出し、「はい」ボタンをクリック する 本機が再起動します。

CD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ

CD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブの取り扱いについて説明します。

各部の名称と役割



イジェクトボタンやアクセスランプ、非常時ディスク取り出し穴の位置や形 状は、モデルによってイラストと多少異なることがあります。

使用できるディスク

	再生	読み込み	書き込み	書き換え
	音楽C D 、 ビデオC D 、 フォトC D	CD-ROM CD-R CD-R W	CD-R、 CD-RW	CD-RW
CD-ROMドライブ			×	×
CD-R/RWドライブ				
:使用可能				

×:使用不可

使用上の注意

- ・CD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブ内のレンズには触れないでください。指紋などの汚れによってデータが正しく読み取れなくなるおそれがあります。
- アクセスランプが点灯しているときは、ディスクを絶対に取り出さないでください。本機の故障の原因となります。
- ・ラベルが貼ってあるなど、重心バランスの悪いディスクを使用すると、本機の 操作中に手に振動を感じることがあります。これは故障の原因となるため、ディ スクの盤面にはラベルやテープなどを貼らないでください。
- ・Windows 98で「CDプレーヤー」を使用する場合、CD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブにディスクをセットしていない状態では、「CDプレーヤー」の「取り出し」ボタンを押してもディスクのトレイは出てきません。ディスクトレイを出すためには、CD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブのイジェクトボタンを押すか、または、「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックして対象となるドライブのアイコンを右クリックし、「取り出し」メニューを選択してください。

非常時のCD-ROMの取り出し方

ソフトウェアの暴走など不慮の原因で、イジェクトボタンを押してもディスクトレイが出てこなくなった場合は、非常時ディスク取り出し穴に太さ1.3 mm程の針金を押し込むと、トレイを手動で引き出すことができます。針金は太めのペーパークリップなどを引き伸ばして代用できます。

チェック! イジェクトボタンを押してもディスクトレイが出てこない、といった非常時以外は、非常時ディスク取り出し穴を使って取り出さないようにしてください。

液晶ディスプレイ

本機の液晶ディスプレイの表示を調整する方法や、表示できる解像度と表示色について説明しています。

表示を調整する

輝度を調整する

本機では、キーボードを使って輝度の調整を行います。輝度は8段階で調整 することができます。

機能	キー操作	説 明
輝度を上げる ▲·Ċ	【Fn】+【F8】	キーを押すごとに、液晶ディス プレイの輝度が増加します(8段 階)。
輝度を下げる ▼- 〇 -	【Fn】+【F9】	キーを押すごとに、液晶ディス プレイの輝度が低下します(8段 階)。
画面の伸縮	[Fn]+[F5]	低解像度時に、ディスプレイの 画面を拡大表示する / しない を切り替えます。

表示できる解像度と表示色

解像度 (ドット)	表示色	本機の液晶 ディスプレイ のみに表示	別売のCRT ディスプレイ のみに表示	本機の液晶 ディスプレイ と別売のCRT ディスプレイ の同時表示 ¹
640 × 480	26万色中256色			
	65,536色			
	1,677万色 ²	3		3
800 × 600	26万色中256色			
	65,536色 4			
	1,677万色 ²	3		3
1,024×768	26万色中256色			
	65,536色 5			
	1,677万色 ²			
1,280×1,024	26万色中256色			
	65,536色			
1,600×1,200	26万色中256色			
	65,536色			

本機の液晶ディスプレイは、標準で次の解像度と表示色を表示できます。

: 画面のまわりが黒く表示される。【Fn を押しながら【F5 を押して拡大表示可能

: 12.1型モデルではフルスクリーン表示。14.1型モデルでは画面のまわりが黒く表示される。 【Fn を押しながら【F5 を押して拡大表示可能

: バーチャルスクリーン(p.48) でのみ表示可能

: 12.1型モデルではバーチャルスクリーン表示(p.48), 14.1型モデルではフルスクリーン表示

:フルスクリーン表示可能

1: 別売のCRTディスプレイ未接続時は本機の液晶ディスプレイのみに表示される

2:本機の液晶ディスプレイでは、ウィンドウアクセラレータのディザリング機能により実現

3:表示色を1677万色に設定しているときは拡大表示不可

4:12.1型モデル購入時の設定

5:14.1型モデル購入時の設定

✓ チェック? 設定により、マニュアルに記載されていない解像度を選択することができる場合がありますが、動作を保証するものではありません。 必ずマニュアルに記載されている解像度で使用してください。

解像度と表示色を変更する

ディスプレイの解像度と表示色の変更はコントロールパネルで設定します。

本機の画面の設定を変更する

- **1** 「コントロールパネル」を開き、「画面」アイコンをダブルクリックする 「画面のプロパティ」が表示されます。
- 2 「設定」タブをクリックする
- 3 画面の領域または色を変更する

画面の領域を変更する場合

「画面の領域」でつまみを「大」の方向へドラッグすると高解像度に、 「小」の方向へドラッグすると低解像度になります。

色を変更する場合

「色」またば「画面の色」で、をクリックし、選択一覧から変更します。こ の選択一覧には、使用している液晶ディスプレイとディスプレイアダプ タが対応しているカラーパレットが一覧表示されます。

4 設定が終了したら、「OK」ボタンをクリックする このあとは、画面の指示に従って操作してください。

バーチャルスクリーン

バーチャルスクリーンとは、実際に表示可能な解像度よりも大きい解像度を 使用できるようにするための仮想画面のことです。バーチャルスクリーンで は、仮想画面全体のサイズが実際のディスプレイの画面より大きくなるので、 ディスプレイには常に仮想画面の一部が表示されている状態となります。画 面をスクロールすると、ディスプレイの画面上で見えていない部分を表示す ることができます。

バーチャルスクリーンでは、「スタート」ボタンがディスプレイの画面上から外れ、表示されないことがあります。ディスプレイの画面上の見えていない部分を見るには、ポインタをディスプレイの画面の端に移動させます。ポインタの移動した方向に画面がスクロールし、見えなかった部分が表示されます。

バーチャルスクリーンモードの設定方法

バーチャルスクリーンモードを使用する場合には、次の設定が必要です。

Windows Me/Windows 98の場合

- 1 「コントロールパネル」を開き、「画面」アイコンをダブルクリックする 「画面のプロパティ」が表示されます。
- 2 「設定」タブをクリックし、「詳細」ボタンをクリックする
- **3**「モニタ」タブをクリックし、「変更」ボタンをクリックする 「デバイスドライバの更新ウィザード」が表示されます。
- 4 次の操作を行う
 - ・Windows Meの場合 「ドライバの場所を指定する(詳しい知識のある方向け)」を選択し、 「次へ」ボタンをクリックする
 - ・Windows 98の場合 「次へ」ボタンをクリックする
- 5 次のものを選択し、「次へ」ボタンをクリックする
 - ・Windows Meの場合 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を表示し、インストールす るドライバを選択する」
 - Windows 98の場合
 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」
- 6 「すべてのハードウェアを表示」を選択する
- 7 「製造元」欄で「(標準モニタの種類)」を選択し、「モデル」欄の 「Super VGA 1600×1200」をクリックする
- 🞖 「次へ」ボタンをクリックし、再び「次へ」ボタンをクリックする
- 9 「完了」ボタンをクリックし、「閉じる」ボタンをクリックする

1

本機の機能

10「OK」ボタンをクリックする これで設定が完了しました。

この後は、画面の指示に従って操作してください。上記の設定をした後は、「設定」タブで、次の解像度を設定できるようになります。

・640×480ドット/800×600ドット/1,024×768ドット/1,280×1,024ドット /1,600×1,200ドット

Windows 2000の場合

- 1 「コントロールパネル」を開き、「画面」アイコンをダブルクリックする 「画面のプロパティ」が表示されます。
- 2 「設定」タブをクリックし、「詳細」ボタンをクリックする
- **3**「モニタ」タブをクリックし、「プロパティ」ボタンをクリックする
- 4 「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」ボタンをクリック する 「デバイスドライバのアップグレードウィザード」が表示されます。
- 5 「次へ」ボタンをクリックする
- 6 検索方法で「このデバイスの既知のドライバを表示して、その一 覧から選択する」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 7 「このデバイスクラスのハードウェアをすべて表示」を選択する
- 8 「モデル」から「Digital Flat Panel(1600×1200)」をクリックする
- 9 「次へ」ボタンをクリックし、再び「次へ」ボタンをクリックする
- 10 「完了」ボタンをクリックし、「閉じる」ボタンをクリックする

11「OK」ボタンをクリックし、再び「OK」ボタンをクリックする これで設定が完了しました。

この後は、画面の指示に従って操作してください。上記の設定をした後は、「設定」タブで、次の解像度を設定できるようになります。

・640×480ドット/800×600ドット/1,024×768ドット/1,280×1,024ドット /1,600×1,200ドット

デュアルディスプレイ機能

デュアルディスプレイ Dual Display はWindows Me/Windows 98で 使用できる機能です。

デュアルディスプレイとは、CRTディスプレイなどの外部ディスプレイを接続したときに、本体の液晶ディスプレイと外部ディスプレイを使ってひとつの画面として表示できる機能です。液晶ディスプレイと外部ディスプレイを 続き画面として利用できるので、表示できる範囲が広くなります。

デュアルディスプレイ機能は、同じ画面を2つのディスプレイに表示するの とは別の機能です。

▼チェック! 画面の解像度によっては、デュアルディスプレイ表示にならない場合があります。

参照) 別売のCRTディスプレイなどを接続するには 「外部ディスプレイ (p.119)

デュアルディスプレイ機能を使う

画面を表示するディスプレイのオン / オフを次の手順にしたがって設定します。

- 1 別売のディスプレイを接続し、電源を入れる(p.120)
- 2 本機の電源を入れる
- 3 「コントロールパネル」を開き、「画面」アイコンをダブルクリックする 「画面のプロパティ」が表示されます。
- 4 「設定」タブをクリックする
- **5**「2」と表示されたディスプレイのイラストをクリックする モニタの使用を確認するメッセージが表示されます。

6 「はい」ボタンをクリックする

7 「適用」ボタンをクリックする

これでデュアルディスプレイ機能を使うことができます。

デュアルディスプレイ機能を解除する

- 1 「デュアルディスプレイ機能を使う」の手順1~4を行う
- 2「2」と表示されたディスプレイのイラストを右クリックする
- 3 表示されたメニューから「使用可能」をクリックする
- **4** 「適用」ボタンをクリックする これでデュアルディスプレイ機能は解除されました。

バッテリ

本機は、ACアダプタを使用せずに、添付のバッテリパックだけで駆動する ことができます。

バッテリで本機を使うときの注意

- ✓ チェック?・バッテリが充分に充電されているときは、特に必要でないかぎり、バッテリパックの取り付けや取り外しをしないでください。故障の原因となります。
 - ・充電を行う際にはできるだけフル充電するようにしてください。バッテリ残量が少ない場合などに少量の充放電を何度も繰り返して本機を使用すると、バッテリ残量に誤差が生じることがあります。
 - ・ハードディスクやフロッピーディスクなどへの読み書き中にバッテリ残量がな くなり、電源が切れてしまうと、作成中のデータが失われたり、ハードディスク やフロッピーディスクなどのデータが失われたり、壊れたりすることがあります。

バッテリパックを長持ちさせるには

次のような点に気を付けると、バッテリパックを長持ちさせることができます。

- ・バッテリの残量をできるだけなくしてから充電する
- ・充電はフル充電(バッテリ充電ランプが消灯)になるまで中断しない
- ・定期的にバッテリリフレッシュを実行する(p.56)
- ・本機を1カ月以上使わないときは、バッテリパックを取り外して、涼しいところに保管する

バッテリの上手な使い方

- ・バッテリだけで本機を長時間使用する場合は、本機の省電力機能を使用 してください。
- 参照/ 省電力機能について このPARTの「省電力機能(p.60)
 - ・バッテリは、自然放電しています。本機を長期間使用しない場合でも、2~ 3カ月に一度は充電することをおすすめします。

バッテリ駆動中にバッテリ残量が少なくなったときは

バッテリ残量が少なくなると、電源ランプ(Z²)が黄色に点灯します。この場合は、状況に応じて次の操作を行ってください。

・ACコンセントから電源を供給できる場合

ACアダプタを接続してACコンセントから電源を供給してください。ACコン セントから電源を供給すると、バッテリ充電ランプ(日)が点灯し、バッテリの 充電がはじまります。また、バッテリを充電しながら本機を使用することもで きます。

・ACコンセントが使えない場合 使用中のソフトウェアを終了して、本機の電源を切ってください。

上記の操作を行わずにそのままにしておくと、「コントロールパネル」の「電源の管理(Windows Me、Windows 98の場合)または「電源オプション」 (Windows 2000の場合)で設定してある状態になります。

バッテリが少なくなったときの動作の設定をする

バッテリ残量が少なくなったりバッテリ残量がなくなったときに、本機をどのような動作や状態にするかを設定することができます。設定は「コントロールパネル」の「電源の管理」アイコン(Windows Me、Windows 98の場合)または「電源オプション」アイコン(Windows 2000の場合)をダブルクリックすると表示される画面の「アラーム」タブで行うことができます。

充電のしかた

- チェック? ・バッテリの充電中は、バッテリパックを本機から取り外さないでください。 ショートや接触不良の原因になります。
 - ・購入直後や長時間放置したバッテリでは、バッテリ駆動ができないことや動作 時間が短くなること、バッテリ残量が正しく表示されないことなどがあります。 必ずフル充電してから使用してください。

バッテリの充電のしかた

本機にバッテリパックを取り付けてACアダプタをACコンセントに接続すると、 自動的にバッテリの充電が始まります。本機の電源を入れて使用していても 充電されます。

参照 バッテリの充電時間について PART4の「機能一覧 (p.161)

充電できる電池容量は、周囲の温度によって変わります。また、高温になると充電が中断されることがありますので、18~28 での充電をおすすめします。

充電状態を表示ランプで確認する

バッテリの充電状態を、バッテリ充電ランプ(日)で確認することができます。 参照 バッテリ充電ランプについて PART1の「表示ランプ(p.19)。

バッテリ残量の確認

バッテリ残量は、インジケータ領域(タスクトレイ)の

ゆ、コントロールパネルで確認することができます。

 チェック
 アリン フル充電されている状態では、バッテリ残量表示に多少の誤差が生じる場合が あります。

ACコンセントから電源を供給しているときは、
■は、
に変わります。

インジケータ領域(タスクトレイ)で確認する

1 インジケータ領域、タスクトレイ)にある●の上にマウスポインタを合わせる バッテリ残量が表示されます。

インジケータ領域(タスクトレイ)で詳細な情報を確認する

1 インジケータ領域 タスクトレイ の をダブルクリックする バッテリ残量やバッテリに関する詳しい情報が表示されます。

電源のプロパティで詳細な情報を確認する

- 1 「コントロールパネル」を開き、次のアイコンをダブルクリックする
 - ・Windows Me/Windows 98の場合 「電源の管理」
 - ・Windows 2000の場合
 - 「電源オプション」

2 「電源メーター」タブをクリックする

バッテリリフレッシュ

バッテリリフレッシュは、一時的に低下したバッテリの性能を回復させるときに 行います。次のようなときには、バッテリリフレッシュを実行してください。

・バッテリでの駆動時間が短くなった

バッテリを完全に使い切らない状態で充電を繰り返していると、バッテリの 充電可能容量が目減りして、駆動時間が短くなる場合があります。これを 「バッテリのメモリ効果」と呼びます。

- ・購入直後や長期間、バッテリを使用しなかったため、バッテリの性能が一 時的に低下した
- ・バッテリの残量表示に誤差が生じている バッテリの充電が完了し、バッテリ充電ランプ(内)が消えてしばらくしても、 バッテリの残量表示が95%以上にならない場合は、バッテリの残量表示に 誤差が生じていると考えられます。

バッテリリフレッシュの実行

- 1 本機を使用中の場合は、本機の電源を切る
- 2 バッテリパックを取り付けていない場合は、バッテリパックを本体 に取り付ける(p.59)
- **3** パソコンにACアダプタを接続していない場合は、ACアダプタを 接続し、電源コードをACコンセントに接続する
- 4 バッテリ充電ランプが点滅している場合は、一度バッテリパック を本体から外して、再度取り付ける

バッテリパックを再度取り付けたのに、バッテリ充電ランプが点滅する場合 でも、バッテリパックを外さずにしばらく充電すると、通常の充電状態にもど ることがあります。

5 バッテリをフル充電(バッテリ充電ランプが消灯した状態)まで充 電する

- 6 BIOSセットアップメニューを起動する(p.142)
- **7** 電源コードのプラグをACコンセントから抜いてから、ACアダプタ を本体から取り外す
- 8 「終了」の「バッテリリフレッシュ」を選び、【Enter】を押す
- **9**「実行しますか?」と表示されたら、「はい」を選んで【Enter】を押す 次のような画面が表示されます。

Refresh battery program Press Y to start refresh, N to exit <ESC> to shutdown system

10【Y】を押す

次のような画面が表示され、バッテリリフレッシュが始まります。



▼チェック?・バッテリリフレッシュ中は、液晶ディスプレイを開いたままにしてください。

・バッテリリフレッシュの所要時間の目安は、フル充電状態で約80分です。

バッテリリフレッシュが完了し、バッテリ内の電力がなくなると自動的に本機の電源が切れますので、本機の電源が切れるまでお待ちください。

バッテリリフレッシュを中断する

バッテリリフレッシュを中断するときは、次の手順で行ってください。

1 【Ctrl】+【Alt】+【Del】を押す 本機が再起動します。

電源スイッチを4秒以上押し続けてもバッテリリフレッシュを中断することが できます。この場合本機の電源が切れます。

バッテリパックの交換

交換の目安

フル充電 バッテリを充電してバッテリ充電ランプが消灯した状態 にしても使用できる時間が短くなったら、バッテリリフレッシュ(p.56 を行ってください。 それでも使用できる時間が回復しないときは、新しいバッテリパックを購入して交換してください。

本機に取り付けられる交換用バッテリパックは次のものです。

・PC-VP-WP28(バッテリパック(ニッケル水素))

チェック! 特に必要でない限り、バッテリパックの取り付けや取り外しをしないでください。 故障の原因になります。

バッテリは消耗品です。充放電をくりかえすと充電能力が低下します。

バッテリパックの交換のしかた





濡れた手で電源コードを抜き差ししないでください。感電の原因となります。



・電源が入っているときや、スタンバイ状態のときにバッテリパックを交換する と、作業中のデータが失われます。電源ランプ(Z^z)が点滅しているときには、 一度スタンバイ状態から復帰し、作業中のデータを保存してからWindowsを 終了し、本機の電源を切ってください。

- 1 本機を使用中の場合は、本機の電源を切る
- **2** 電源コードのプラグをACコンセントから抜いてから、ACアダプタ を本機から取り外す
- 3 液晶ディスプレイを閉じて、本機を裏返す
- 4 バッテリパックの横にあるバッテリアンロック() を矢印の方向 にスライドさせたまま、バッテリパックを外側にスライドして取り 外す



5 新しいバッテリパックを取り付ける



省電力機能

省電力機能とは

省電力機能とは、CPUやハードディスク、ディスプレイといった、パソコンの主要な部分への電力供給を停止することで、本体の消費電力を抑える機能です。また、作業を一時的に中断したいときや、中断した作業をすぐに再開したいときにも便利な機能です。

本機の省電力機能

本機の省電力機能には、「スタンバイ状態(サスペンド)」「休止状態(ハイバ ネーション)」があります。「スタンバイ状態」と「休止状態」を合わせて「スリー プ状態」と呼ぶこともあります。

省電力機能の設定は、Windows Me / Windows 98の場合は「コントロール パネル」の「電源の管理」で行います。Windows 2000の場合は「コントロー ルパネル」の「電源オプション」で行います。

スタンバイ状態(サスペンド)

作業中のデータを一時的にメモリに保存し、消費電力を抑える機能です。ス タンバイ状態のことを「サスペンド」と呼ぶこともあります。データはメモリに保 存されているため、すぐに元の状態に戻すことができます。元の状態に戻す ことを「復帰(レジューム)」と呼びます。

参照 スタンバイ状態にする 「スタンバイ状態(サスペンド)にする (p.63)

休止状態(ハイバネーション)

作業中のデータをハードディスクに保存し、電源を切る機能です。休止状態のことを「ハイバネーション」と呼ぶこともあります。普通に電源を切るのとは異なり、次に電源を入れるときに、Windowsを起動する操作をせずに、すぐに元の状態に戻すことができます。元の状態に戻すことを「復帰(レジューム)」と呼びます。

データを保持するための電力を消費しないので、長時間作業を中断すると きなどに便利です。

参照/休止状態にする「休止状態(ハイバネーション)にする(p.64)

省電力機能使用上の注意

スタンバイ状態または休止状態を利用できないとき

次のようなときには、スタンバイ状態または休止状態にしないでください。本 機が正常に動かなくなったり、正しく復帰できなくなることがあります。

- ・プリンタへ出力中
- ・通信用アプリケーションを実行中
- ・電話回線を使って通信中
- ・音声または動画を再生中
- ・ハードディスク、CD-ROM、フロッピーディスクなどにアクセス中
- ・「システムのプロパティ」画面を表示中
- ・Windowsの起動/終了処理中
- ・スタンバイ状態または休止状態に対応していないアプリケーションを使用中
- ・スタンバイ状態または休止状態に対応していないPCカード、USB対応機 器を使用中

スタンバイ状態または休止状態を使用するときの注意

スタンバイ状態または休止状態にするときは、次のことに注意してください。

- ・スタンバイ状態では、ネットワーク機能が一旦停止します。ネットワークを使用するアプリケーションによっては、スタンバイ状態になったときにデータが 失われることがあります。ネットワークを使用するアプリケーションを使う場合には、システム管理者に確認のうえ、スタンバイ状態を使用してください。
- ・バッテリのみで使用する場合は、あらかじめバッテリの残量を確認しておいてください。また、バッテリ残量が少なくなってきたときの本機の動作について設定しておくこともできます(p.54)。
- ・スタンバイ状態または休止状態への移行中は、各種ディスクやPCカードの 入れ替えなどを行わないでください。データが正しく保存されないことがあ ります。
- ・スタンバイ状態または休止状態のときに、PCカードを入れ替えるなどの機 器構成の変更をすると、スタンバイ状態から正しく復帰できなくなることが あります。
- ・SCSI PCカードを使用している場合、SCSI PCカードと接続されている機器の組み合わせによっては、スタンバイ状態または休止状態から正しく復帰できない場合があります。このような場合は、スタンバイ状態または休止状態にしないでください。

- ・本機にフォトCDをセットしたままスタンバイ状態または休止状態にすると、 復帰に時間がかかることがあります。
- ・Windows Me / Windows 2000で、フロッピーディスクやCD-ROMをセットしたまま休止状態から復帰すると、正しく復帰できずにフロッピーディスクやCD-ROMから起動してしまうことがあります。休止状態にする場合は、フロッピーディスクやCD-ROMを取り出してから休止状態にしてください。また、フロッピーディスクを使用しているときは、必要なファイルを保存してからフロッピーディスクを取り出してください。
- ・Windows Me / Windows 98でディスプレイの省電力機能を使用する場合は、スクリーンセーバー機能もあわせて使用してください。スクリーンセーバー機能を使用しないと、「MS-DOSプロンプト」使用時、省電力機能は利用できません。
- ・Windows Me / Windows 98の場合、ATAカードをセットした状態では、 スタンバイ状態または休止状態になるまでに時間がかかることがあります。
- ・Windows Meの場合、「コントロールパネル」を開き、「画面」アイコンをダブ ルクリックすると表示される「画面のプロパティ」の「Web」タブで、「Active DesktopにWebコンテンツを表示」が「●になっていると、自動的にスタンバ イ状態または休止状態にできない場合があります。この場合は、「Active DesktopにWebコンテンツを表示」を「一に設定してください。
- Windows 98の場合、「スタート」ボタン「設定」「アクティブデスクトップ」の「Webページで表示」にチェックマークが入っていると、自動的にスタンバイ状態または休止状態にできない場合があります。この場合は、「Webページで表示」のチェックマークをはずしてください。

スタンバイ状態または休止状態から復帰するときの注意

スタンバイ状態または休止状態から復帰させるときには、次のことに注意して ください。

- ・スタンバイ状態または休止状態にしてからすぐに復帰するときは、本機に 負担がかからないよう、スタンバイ状態または休止状態になった後、約5秒 以上たってから操作してください。
- ・スタンバイ状態または休止状態のときにPCカードの入れ替えや周辺機器の取り付け/取り外しなどの機器構成の変更をすると、正常に復帰できなくなることがあります。
- ・タイマ、LAN、FAXモデムの自動操作、および液晶ディスプレイを開いての スタンバイ状態からの復帰を行った場合、本機はスタンバイ状態から復帰 していても液晶ディスプレイに何も表示されない状態になります。この場合 はNXパッドを操作するかキーボードのキーを押すことによって液晶ディス プレイに表示できます。

・Windows 2000でスタンバイ状態から復帰後、モデムについての「デバイスの取り外しの警告」画面が表示されることがあります。その場合は「OK」ボタンをクリックしてください。警告が発生したデバイスは、そのまま使用できます。

スタンバイ状態(サスペンド)にする

購入時の状態では、次のいずれかの方法でスタンバイ状態にすることができます。スタンバイ状態になると、電源ランプ(Z²)が緑色に点滅します。 Windowsの終了メニューで「スタンバイ」を選んで、スタンバイ状態にする

- ・Windows Me / Windows 98の場合 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」で「スタンバイ」を選び、「OK」ボタン をクリックする
- ・Windows 2000の場合 「スタート」ボタン 「シャットダウン」で「スタンバイ」を選び、「OK」ボタンをク リックする

バッテリ駆動時、キーボードやNXパッドからの入力がなくなってから一定時間経過後、自動的にスタンバイ状態にする 液晶ディスプレイを閉じる

ほかにも、設定を行うことにより、次の方法でスタンバイ状態にできます。

電源スイッチを押す

電源スイッチを押してスタンバイ状態にするには設定が必要です。「省電力 機能を設定する」の「液晶ディスプレイや電源スイッチで行う省電力機能の 設定 (p.66)の手順で設定を行ってください。

休止状態(ハイバネーション)にする

休止状態にする(Windows Meの場合)

購入時の状態では、次のいずれかの方法で休止状態にすることができま す。休止状態になると、電源ランプ(Z²)が消灯し、本機の電源が切れます。

「スタート」ボタン 「Windowsの終了」で「休止状態」を選び、「OK」ボタンを クリックする

バッテリ駆動時、キーボードやNXパッドからの入力がなくなってから一定時間経過後、自動的に休止状態にする

ほかにも、設定を行うことにより、次の方法で休止状態にすることができます。

液晶ディスプレイを閉じる

電源スイッチを押す

液晶ディスプレイを閉じたり、電源スイッチを使って休止状態にできるように するためには、「液晶ディスプレイや電源スイッチで行う省電力機能の設定」 (p.66)の手順を行ってください。

休止状態にする(Windows 98の場合)

購入時の状態では休止状態の機能は利用できませんが、設定を行うことにより次の方法で休止状態にすることができます。

参照 休止状態を利用できるようにする 「液晶ディスプレイや電源スイッチで行う 省電力機能の設定 (p.66)

休止状態になると、電源ランプ(Z²)が消灯し、本機の電源が切れます。

電源スイッチを押す

「Save to Disk in progress.」の表示とともに、作業状況を示す棒グラフが 表示されます。

液晶ディスプレイを閉じる

休止状態にする(Windows 2000の場合)

購入時の状態では、次の方法で休止状態にすることができます。 休止状態になると、電源ランプ(Z²)が消灯し、本機の電源が切れます。

「スタート」ボタン 「シャットダウン」で「休止状態」を選び「 OK」ボタンをク リックする

「休止中...」の表示とともに、作業状況を示す棒グラフが表示されます。

ほかにも、設定を行うことにより次の方法で休止状態にすることもできます。 液晶ディスプレイを閉じる 電源スイッチを押す

液晶ディスプレイを閉じたり、電源スイッチを使って休止状態にするには、「液 晶ディスプレイや電源スイッチで行う省電力機能の設定(p.66)の手順を 行ってください。

スタンバイ状態または休止状態から復帰(レジューム)する

スタンバイ状態や休止状態から元の状態に戻すことを「復帰」または「レジューム」といいます。

スタンバイ状態から復帰する

スタンバイ状態からの復帰は次の方法で行うことができます。

電源スイッチを押す

スタンバイ状態にする前の元の状態が表示されます。

液晶ディスプレイを閉じてスタンバイ状態にした場合、液晶ディスプレイを 開けることで復帰することができます。また、タスクスケジューラで時刻を指 定してスタンバイ状態から復帰することもできます。タスクスケジューラにつ いて詳しくはWindowsのヘルプをご覧ください。

Windows 2000でログオンパスワードを入力する画面が表示された場合は、パスワードを入力してください。

休止状態から復帰する

休止状態からの復帰は次の方法で行います。

電源スイッチを押す

復凬(レジューム)中を表すメッセージと作業状況を示す棒グラフが表示されます。

復帰が完了すると、元の状態(休止状態に入る前)の画面が表示されます。

Windows 2000でログオンパスワードを入力する画面が表示された場合は、パスワードを入力してください。

省電力機能の設定をする

省電力機能の設定は、Windows Me / Windows 98の場合は「コントロールパネル」の「電源の管理」で行います。Windows 2000の場合は「コントロールパネル」の「電源オプション」で行います。

「電源の管理」や「電源オプション」では、省電力機能を実行するときの操作 方法や実行するまでの時間を変更したり、ACアダプタ駆動時にも省電力機 能が働くように設定できます。また、あらかじめ設定されている電源設定モー ドを選ぶこともできます。

液晶ディスプレイや電源スイッチで行う省電力機能の設定

液晶ディスプレイを閉じたり、電源スイッチを操作したときに、スタンバイ状態 または休止状態にするときや、Windows 98で休止状態を利用するときは、 次の設定を行ってください。

- 1 「コントロールパネル」を開き、次のアイコンをダブルクリックする
 - ・Windows Me/Windows 98の場合
 - 「電源の管理」アイコン
 - ・Windows 2000の場合
 - 「電源オプション」アイコン

2 次の操作を行う

- ・休止状態を利用するための設定を行う場合
- 「休止状態」タブをクリックして手順3に進んでください。
- ・スタンバイ状態を利用するための設定を行う場合 手順4に進んでください。

3 「休止状態をサポートする」が
□になっていることを確認する

- 4 次のタブをクリックする
 - ・Windows Meの場合 「詳細設定」タブ
 - ・Windows 98/Windows 2000の場合 「詳細」タブ
- 5「電源ボタン」の欄で、設定したい動作と機能を選ぶ
 - ・電源スイッチを押して行う場合
 「コンピュータの電源ボタンを押したとき」で「スタンバイ」または「休止 状態」を選ぶ
 - 液晶ディスプレイを閉じて行う場合
 「ポータブル コンピュータを閉じたとき」で「スタンバイ」または「休止 状態」を選ぶ
- **6**「適用」ボタンをクリックして、「OK」ボタンをクリックする

電源設定のモードを選ぶ

Windows Me/Windows 98の場合

- 1 「コントロールパネル」を開き、「電源の管理」アイコンをダブルク リックする 「電源の管理のプロパティ」画面が表示されます。
- 2「電源設定」タブをクリックする
- 3 「電源設定」欄でモードを選ぶ
 - Windows Meの場合 購入時には「LaVie/VersaPro」に設定されています。
 - Windows 98の場合
 購入時には「常にオン」に設定されています。

4 「適用」ボタンをクリックして、「OK」ボタンをクリックする

画面の下段の「**の電源の設定」の「**」には、上段の「電源設定」欄で 選んだモード名が表示され、それぞれの項目欄には、モードの設定時間が 表示されます。また、「電源設定」欄で新しいモードを作成することもできます。

Windows 2000の場合

- 1 「コントロールパネル」を開き、「電源オプション」アイコンをダブル クリックする 「電源オプションのプロパティ」画面が表示されます。
- 2「電源設定」タブをクリックする
- **3**「電源設定」欄でモードを選ぶ 購入時には「ポータブル / ラップトップ」に設定されています。
- 4 「適用」ボタンをクリックして、「OK」ボタンをクリックする

画面の下段の「**の電源の設定」の「**」には、上段の「電源設定」欄で 選んだモード名が表示され、それぞれの項目欄には、モードの設定時間が 表示されます。また、「電源設定」欄で新しいモードを作成することもできます (p.69)。

時間を個別に設定する

1 「電源設定のモードを選ぶ (p.67)の手順1~2を行う

項目	説明
モニタの電源を切る	入力が何も行われないまま指定した時間が 経過すると、モニタの電源を切ります。
ハード ディスクの 電源を切る	指定した時間、ハードディスクへのアクセスが ないと、ハードディスクの電源を切ります。
システム スタンバイ	指定した時間何の入力もなく、ハードディスク へのアクセスがないと、パソコンがスタンバイ 状態になり、消費電力を抑えます。
システム休止状態	指定した時間何の入力もなく、またハードディ スクへのアクセスがないと、パソコンが休止状 態になり、電源が切れます。

2 画面の下段でそれぞれの時間を設定する

3 「適用」ボタンをクリックして、「OK」ボタンをクリックする

Windows 98で時間を設定する場合の注意

「システムスタンバイ」の設定時間を「モニタの電源を切る」の設定時間よりも後にした場合、「システムスタンバイ」が実行されるのは、「モニタの電源を切る」が実行されてからの時間になります。

「モニタの電源を切る」を「15分後」、「システムスタンバイ」を「20分後」に設定した場合、実際に「システムスタンバイ」が実行されるのは、モニタの電源が切れてから、さらに20分経過した35分後となります。

 ・入力がなくなってから「システムスタンバイ」を20分後に設定したい場合 例1:「システムスタンバイ」 15分後
 「モニタの電源を切る」 5分後

例2:「システムスタンバイ」 20分後 「モニタの電源を切る」 なし

新しいモードを作成する

パソコンの利用状態に合わせて、モードを新たに登録することができます。

- 1 「電源設定のモードを選ぶ (p.67)の手順1~2を行う
- 2 画面の下段でそれぞれの時間を設定する
- 3 「名前を付けて保存」ボタンをクリックする
- **4** 任意の保存名を入力し、「OK」ボタンをクリックする これで、新しいモードが登録されました。
- 5 「適用」ボタンをクリックして、「OK」ボタンをクリックする

作成したモードは「電源設定」欄で選ぶことができるようになります。

休止状態の設定の解除と再設定(Windows 98のみ)

休止状態中は、元の状態をハードディスクにファイルとして保存しています。こ のファイルのことを「ハイバネーション用ファイル」と呼び、工場出荷時には、す でに作成された状態になっています。このハイバネーション用ファイルをいった ん削除することを「休止状態の設定の解除」と呼び、メモリの取り付け / 取り外しを行ったり、Cドライブの圧縮 / 圧縮解除を行ったときには、この「休 止状態の設定の解除」を行う必要があります。

設定を解除したあと、再び休止状態を利用したいときは、「休止状態の再設定」でハイバネーション用ファイルを作成してください。

休止状態の設定を解除する

休止状態の設定を解除するには、「ハイバネーション設定ユーティリティ」を使います。

- ジチェック?!「ハイバネーション設定ユーティリティ」は、MS-DOSモードで起動します。「MS-DOS プロンプト」ウィンドウでは実行できません。
 - 1 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」で「MS-DOSモードで再 起動する」を選ぶ
 - **2**「OK」ボタンをクリックする MS-DOSモードで再起動します。
 - 3 次のように入力する HIBEROFF【Enter】
 - 4 次のようなメッセージが表示されたら、何かキーを押す 本機が自動的に再起動します。

The system will now be reset to allow the BIOS to recognize the changes.	
Press any key to reset the system	

これで休止状態の機能を使うためのファイル(ハイバネーション用ファイル) が削除され、休止状態の設定を解除することができました。 すでに休止状態の機能を使うためのファイルが削除されている状態で「ハイバネーション設定ユーティリティ」を実行すると、「There is no S2D file to delete. と表示されます。

休止状態を再設定する

休止状態の設定を解除したときや、休止状態のためのファイルを削除してしまったときは、休止状態の再設定を行ってください。

- チェック? 「ハイバネーション設定ユーティリティ」は、MS-DOSモードで起動します。「MS-DOSプロンプト」ウィンドウでは実行できません。
 - 1 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」で「MS-DOSモードで再 起動する」を選ぶ
 - **2**「OK」ボタンをクリックする MS-DOSモードで再起動します。
 - 3 次のように入力する HIBERON[Enter]

ハードディスクの空き容量が不足しているというメッセージが表示され た場合は、不要なファイルを削除するなどしてハードディスクの空き領 域を確保したあと、手順1からやり直してください。必要なハードディス クの空き領域の目安は、本機に搭載されているメモリ容量+8Mバイ トです。

4 次のようなメッセージが表示されたら、何かキーを押す 本機が自動的に再起動します。



電源の自動操作

タイマ、LAN、回線からのアクセスによって自動的に電源の操作を行うことが できます。

✓ チェック! タイマ、LAN、FAXモデムの自動操作によるスタンバイ状態からの復帰を行った場合、本体はスタンバイから復帰しているのに、ディスプレイには何も表示されない状態になることがあります。この場合、ポインティングデバイスを動かすかキーボードのキーを押すことによってディスプレイが表示されます。

タイマ機能

設定した時間を経過しても、ポインティングデバイスやキーボードからの入力、またはハードディスクへのアクセスなどがない場合に、自動的にディスプレイの電源を切ったり、スタンバイ状態や休止状態にする機能です。「省電力機能の設定をする」の「電源設定のモードを選ぶ(p.67)や、「時間を個別に設定する(p.68)の手順で時間を設定してください。

♥チェック? Windows 98では休止状態にするまでの時間を設定することはできません。

リモートパワーオン機能(内蔵LAN機能による電源操作)

LAN経由で、離れたところにあるリモートパワーオンに対応したパソコンの電源を操作する機能です。

参照 リモートパワーオン機能について「LAN(ローカルエリアネットワーク)」の「本
機の運用管理(p.95)

リング機能(FAXモデムによる電源の自動操作)

FAXや電話を受信した場合にスタンバイ状態から復帰することができます。
セキュリティ機能

本機には、本機の不正使用やデータなどの盗難を予防するためのセキュ リティ機能が搭載されています。

本機のセキュリティ機能

本機のセキュリティ機能には、次のようなものがあります。

- ・パスワード
- ・スマートカード(別売)(Windows98のみ)
- ・指紋認証ユニット(別売)

▼ チェック! セキュリティ機能を使用している場合でも、「絶対に安全」ということはありませ ん。重要なデータなどの管理、取り扱いには十分注意してください。

パスワード

パスワードを設定することで、本機の使用者を制限するとともに、本機の不正 使用を防止することができます。本機のパスワードはBIOSセットアップメ ニューで設定します。パスワードを設定することにより、次のような機能を制 限することができます。

- ・本機の起動
- ・BIOSセットアップメニューの起動と設定変更
- ✓ チェック!! ご購入元、NECフィールディングの各支店、営業所などに本機の修理を依頼される際は、設定したパスワードは解除しておいてください。

パスワードの種類

本機で設定可能なパスワードには、「スーパバイザパスワード」と「ユーザパス ワード」があります。

・スーパバイザパスワード

システム管理者など、本機の運用を管理する人のためのパスワード です。

・ユーザパスワード

日常的に本機を使用する人のためのパスワードです。

パスワードを使った管理

パスワードは本機の使用状況に合わせて次のように利用できます。

日常的な使用者以外が本機の設定を管理したい場合 本機を日常的に使用している人とは別の人が本機の設定をしたい場合、は じめに管理者がユーザパスワードとスーパバイザパスワードの両方を設定し ておき、ユーザパスワードのみを各利用者に通知します。この機能を使うと、 管理者以外はBIOSセットアップメニューのパスワードに関する設定を変更 することができなくなります。

使用者が本機の設定を管理したい場合

本機を日常的に使用する人がBIOSセットアップメニューのパスワードに関 する設定も自由に行いたい場合、使用者がスーパバイザパスワードを設定し ます。この機能を使うと、使用者以外には本機の起動やBIOSセットアップメ ニューの設定変更ができなくなります。

パスワードを設定 / 変更する

スーパバイザパスワード、またはユーザパスワードの設定 / 変更は、BIOS セットアップメニューで行います。パスワードを設定後にBIOSセットアップメ ニューを起動するときは、設定したスーパバイザパスワードを入力しなけれ ば、BIOSセットアップメニューを起動できなくなります。

- **1** BIOSセットアップメニューを起動する(p.142)
- 2 メニューから セキュリティ を選ぶ
- 3「スーパバイザパスワードの設定」またばユーザパスワードの設定」 を選んで、【Enter】を押す パスワード設定の画面が表示されます。

✓ チェック ? スーパバイザパスワードを設定していないと、ユーザパスワードを設定することはできません。

4「新しいパスワードを入力して下さい。」の欄で、パスワードを入力 して【Enter】を押す チェック! ニューメリックロックキーランプ(①)が消灯していることを確認し、パスワードの文字列を8文字以内で設定してください。使用できる文字は、半角英字のA~ 2(大文字 / 小文字の区別はありません)と半角数字の0~9だけです。

- 5 「新しいパスワードを確認して下さい。」の欄で、手順4で入力した パスワードをもう一度入力して【Enter】を押す
- 6 「変更が保存されました。」と表示されるので、【Enter】を押す
- 7 設定を保存して、BIOSセットアップメニューを終了する
- ✓ チェック? 設定したパスワードを忘れないようにしてください。パスワードは本機を再セットアップしても解除できません。パスワードは忘れないように控えておくことをおすすめします。

パスワードを入力するタイミング

パスワードを設定しておくと、BIOSセットアップメニュー起動時にパスワード を入力するように要求されます。BIOSセットアップメニュー起動時以外にも、 本機の起動時にパスワードを入力するように設定できます。

本機の起動時にパスワードを入力するように設定するには、BIOSセットアップメニューの「セキュリティ」の「起動時のパスワード」を「使用する」に設定してください。

パスワードを入力する

パスワードを設定しているときの電源の入れかた BIOSセットアップメニューの「セキュリティ」の「起動時のパスワード」が「使用 する」に設定されている場合は、次の手順で電源を入れます。

1 本機の電源を入れる

次のようなパスワードを入力する画面が表示されます。



2 設定されているパスワードを入力して【Enter】を押す

正しいパスワードが入力されると、Windowsが起動します。

- ✓ チェック!・誤ったパスワードが入力されると、警告が表示されます。パスワードの入力に 3回失敗すると、パスワードが入力できなくなります。このときは、電源スイッチ を押して電源を切ったあと、再度手順1からやり直してください。
 - ・スーパバイザパスワードとユーザパスワードの両方が設定されている場合、
 どちらのパスワードでも復帰することができます。
 - ・誤ったパスワードが入力されると復帰できません。

パスワードを忘れてしまったときは

設定したパスワードを忘れないようにしてください。パスワードは本機を再セット アップしても解除できません。パスワードは忘れないように控えておくことをおす すめします。パスワードを忘れてしまった場合には解除処置が必要です。

参照 解除処置について 『活用ガイド ソフトウェア編』PART4の「電源を入れたとき」

スマートカード / 指紋認証ユニット

✓ チェック! スマートカードはWindows 98でのみ使用できます。

別売のセキュリティ関連拡張機器を利用して個人認証を行うことにより、本機の使用者を制限するとともに、本機の不正使用を防止することができます。本機ではスマートカードによる個人認証、および指紋による個人認証に対応しています。

参照 スマートカード / 指紋認証について スマートカード発行ツール(PK -SM002V2など)またはスマートカードアプリケーション(PK - SM005、PK -SM006)に添付のマニュアル、またはPCカード用指紋認証ユニット(PK -FP001M)に添付のマニュアル

その他のセキュリティ機能を使う

起動セクタへのウィルス感染防止

ハードディスクの起動セクタを書き込み禁止に設定できます。起動セクタ部分 が削除されたり、書き換えられたりすると、正常にパソコンを起動することが できなくなってしまいます。書き込み禁止に設定すると、起動セクタをコン ピュータウイルスなどから保護できます。「ハードディスク起動セクタ」の設定 は、BIOSセットアップメニューで行います。

参照 ハードディスクの起動セクタを保護する PART3の「「セキュリティ」メニューの設定(p.148)

盗難防止用ロック

本体の盗難防止用ロックに市販の盗難防止用ケーブルを取り付けると、本体の盗難を防止できます。

参照 盗難防止用ロック PART1の「各部の名称 (p.16)

盗難防止用ロックは、キーケーブルロック等のセキュリティワイヤーに対応して います。製品についての連絡先は、以下のとおりです(2001年4月現在)。 日本ポラデジタル株式会社 第3営業部 〒104-0032 東京都中央区八丁堀1丁目5番2号 はごろもビル5F Tel:03-3537-1070 Fax:03-3537-1071

サウンド機能

ボリュームコントロールを使うと、内蔵音源の再生音量や録音時の入力レ ベルを調節することができます。

ボリュームコントロールを起動する

- 1 インジケータ領域 タスクトレイ)の↓ をダブルクリックする 「音量の調整」または「ボリュームコントロール」の画面が表示されます。
- チェック? ディスプレイの解像度を低解像度に設定しているときにボリュームコントロール を表示させると、ボリュームコントロールのすべての音源コントロールが表示さ れない場合や右端の音源コントロールの表示が一部欠ける場合があります。こ のようなときには、ディスプレイの解像度を変更する(p.48)か、または「プロ パティ」ウィンドウの「表示するコントロール」欄で、使用しない音源の選択を解 除し、必要な音源コントロールが表示されるように変更してください。 なお、ディスプレイの解像度を変更する場合は、ボリュームコントロールを一旦 終了し、解像度を変更後に再度ボリュームコントロールを起動してください。

表示項目を切り替える

ボリュームコントロールに表示させる項目を切り替えることができます。

- メニューバーの「オプション」「プロパティ」をクリックする 「プロパティ」ウィンドウが開きます。
- **2**「音量の調整」から「再生」「録音」のどちらかを選択する 表示項目が切り替わります。
 - 「音量の調整」欄で選択できる項目は、モデルによって異なります。

設定項目一覧

表示できる項目と各項目の説明は次のようになります。 項目はモデルによって多少異なる場合があります。

	音量調節の種類		<u>~× nn</u>	
項日	再生	録音	記切	
音量の調整または ボリュームコントロール			スピーカから出力される全ての音量を調整しま す。	
WAVE			WAVEなどのPCM音源の音量を調整します。	
SW Synthまたは SW シンセサイザ			MIDIデバイスとして"Microsoft GS Wavetable SW Synth"を選択した場合の MIDIの音量を調整します。	
3D Depth			3Dエンハンスメントの効果を調整します。3Dエ ンハンスメントはステレオ音声に対して効果が あります。	
Mic			マイクロホン端子から入力される音声をスピー カから出力するとき、または録音するときの音量 を調整します。	
Line-In			オーディオ入力端子に接続した機器から入力される音をスピーカから出力するとき、または録音するときの音量を調整します。	
CD Player			CD-ROMで再生した音楽CDを再生、または録 音する時の音量を調整します。	
Video			本機では使用できません。	
Aux			本機では使用できません。	
Phone			本機では使用できません。	
PC Speaker			PCMCIA、Modemからのビープ音の音量を調整 します。	
録音コントロール または録音の調節			全ミュートのみ使用可能です。	
Stereo Mixer			スピーカから出力される全ての音を録音すると きの音量を調整します。	



内蔵モデム

ここでは、FAXモデム内蔵モデルについての説明をしています。 内蔵のモデムを介して電話回線に接続すると、インターネットや電子メール などのやり取りができます。

電話回線との接続

接続可能な電話回線のコンセントについて

本機に接続可能な電話回線は2線式のみです。電話回線に接続する前に、 使用する電話回線の種類を確認してください。

本機には、モジュラージャックと接続するためのモジュラーケーブルが添付 されています。電話回線のコンセントがモジュラージャック式以外の場合は、 変換アダプタを使用するか、NTTにモジュラージャックの取り付けをご相談 ください。

✓ チェック! 内蔵のFAXモデムは、加入電話回線に適合するように設計されています。加入 電話回線以外と接続すると、うまく動作しないことや、内蔵FAXモデムやパソコ ン本体などを破損するおそれがあります。

電話回線を接続する



⚠警告

雷が鳴りだしたら、本機や電源コードに触れないでください。また、機器の 接続や取り外しを行わないでください。落雷による感電のおそれがありま す。

⚠注意



モジュラージャックの端子に触れないでください。電話回線と接続してい るモジュラージャックを抜いたときに電話がかかってくると、電話回線上 に電圧がかかるため、端子に触れると感電することがあります。

1 本機の機能

- 1 本機を使用中の場合は、本機の電源を切る
- **2** 電源コードのプラグをACコンセントから抜いてから、ACアダプ タを本機から取り外す
- **3** 電話機のモジュラーケーブルをモジュラージャックなどから取り外す
- **4** 付属のモジュラーケーブルの一方を本機の電話回線用モジュ ラーコネクタに接続する



5 モジュラーケーブルのもう一方を壁などのモジュラージャック に接続する

1つの電話回線のモジュラージャックを本機以外の機器(電話機など)と 共用で使用する場合は、使用するごとにケーブルの接続や取り外しが必要になります。

ダイヤル設定のしかた

Windows Me/Windows 98の場合

 「コントロールパネル」を開き、「テレフォニー」アイコンをダブルク リックする 「ダイヤルのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

「所在地情報」ウィンドウが表示された場合 0を除いた市外局番を入力し、「閉じる」ボタンをクリックすると、「ダイ ヤルのプロパティ」ウィンドウが表示されます。 必要な項目を確認して、設定してください。

携帯電話など必ず市外局番からダイヤルする必要のある環境で使用する 場合は、市外局番の欄を「000」に設定してください。

「ダイヤルのプロパティ」ウィンドウが表示された場合

รัสจานสวันเกิรส ? 🗙	
所在地情報 テレフォニードライバ 登録名(型) 所以保所 新規(型) 前野(分) 面名/伊想(公) 市外局重(公) 市外局重(公) 日本 回000 市分三円(空) 外域犯信書号 市内)通話 市内/通話 市外通話 日本 回	使用する場所の0を除いた市外 局番を入力する。 携帯電話など、市外局番からダ イヤルする必要がある場合は、 「000」を入力する。 外線発信番号が必要な回線の 場合は入力する。
ダイヤル方法: で トレン①	ブッシュ回線を使用するときは 「トーン」、ダイヤル回線のときは 「パルス」に設定してください。回 線の種類が不明の場合は、NTT にお問い合わせください。

この画面はモデルによって異なります。

Windows 2000の場合

- 1 「コントロールパネル」を開き、「電話とモデムのオプション」アイ コンをダブルクリックする 「電話とモデムのオプション」ウィンドウが表示されます。 はじめてダイヤル設定を行うときは、「所在地情報」ウィンドウが表示されます。このような場合は、次の「「所在地情報」ウィンドウが表示された場合」で設定を行ってください。
- 「所在地情報」ウィンドウが表示された場合
 - 「市外局番/エリア コード」欄に0を除いた市外局番を入力し、「0K」ボ タンをクリックすると、「電話とモデムのオプション」ウィンドウが表示さ れます。

必要な項目を確認して、設定してください。

携帯電話など必ず市外局番からダイヤルする必要のある環境で使用する 場合は、市外局番の欄を「000」に設定してください。

2「ダイヤル情報」タブで、設定したい所在地名を選んでから「編集」ボタンをクリックする

電話とモデムのオブション	? >
ダイヤル情報 モデム 詳細	
下の一覧には指定した所在地が表 択してくたさい。	示されています。ダイヤル元の所在地を選
所在地(L):	
所在地	市外局番
 所在地情報 	3
ОК	キャンセル 道用(点)

新規にダイヤル設定を行いたい場合は、「新規」ボタンをクリックし、表示された「新しい所在地」ウィンドウで設定を行ってください。

3 「所在地の編集」ウィンドウで設定を行う

所在地の編集 ? 2	×
全統 市外局番の規則 過話カード 所な地位: 回避調査面 ダイリルにの所在地を指定します。 国地域位: 市外局番位: 日本 9 月	使用する場所の0を除いた市外 局番を入力する。 携帯電話など、市外局番からダ イヤルする必要がある場合は 「000,を入力する。
ダイヤル情報 この所在地からダイヤルするときに適用する規則 市内は酸の場合の外線発信番号(小) 市外電話の場合の外線発信番号(小) 「キャッチル・機能を解除するための番号(小) ダイヤル方法 (トーン(D	外線発信番号が必要な回線の 場合は入力する。 ブッシュ回線を使用するときは 「トーン」ダイヤル回線のときは 「パルス」に設定してください。回 線の種類が不明の場合は、NTT にお問い合わせください。

4 設定が終わったら、「OK」ボタンをクリックする

通信機能使用上の注意

- ・内蔵FAXモデムは一般電話回線のみに対応しています。
- ・加入電話回線がトーン式かパルス式かわからないときは、NTTに確認して ください。
- ・回線の状態によっては、接続しにくかったり、通信時に雑音が入ることがあ ります。
- ・キャッチホンサービスを受けている場合、モデムで通信中に電話がかかってくると、モデムによる通信が切れる場合があります。
- ・ダイヤルアップネットワーク接続の場合、インターネットエクスプローラを終了 しても回線が接続されたままになっている場合があります。 回線を切断する必要がある場合は、インジケータ領域、タスクトレイ)の「ダイ ヤルアップネットワーク」アイコンを右クリックし、表示されたメニューから「切 断」をクリックしてください。
- ・コードレスホンや親子電話などの加入電話回線以外の回線をご使用の場 合は、正常なデータの送受信ができなくなる場合があります。
- ・回線の状態によっては、希望の通信速度で通信できない場合があります。
- ・電話局の交換機の種類によっては、14400bpsでのファクシミリ通信ができないことがあります。この場合には、通信速度を9600bpsにしてください。

- ・データ通信を行う場合、フロー制御はRTS/CTSに設定してください。それ 以外に設定すると、データ抜けが生じる可能性があります。
- ・通常の電話回線を使用する場合、送信レベルはご購入時の設定から変更 する必要はありません。ただし、回線状態が悪く、うまく接続できない場合に は、送信レベルの調整が必要なことがあります。送信レベルの調整は、工 事担任者以外が行うことは法律で禁じられていますので、当社指定の サービス窓口にお問い合わせください。
- ・本機に内蔵されているモデムは、海外では使用できません。
- ・海外と直接接続した場合、伝送路の特性のため正常に通信できない可能 性があります。
- ・K56flexおよびITU-T V.90の最大受信速度56,000bpsは、理論値であり、
 加入電話回線での通信速度とは異なります。
- ・ハイパーターミナルなどを使って通信する場合、ATコマンドが必要です。詳 しくは、下記のREADMEファイルをご覧ください。
 - -Windows Me/Windows 98の場合:
 - C:¥Windows¥SCmodem¥Atc¥Html¥Atc000.HTM -Windows 2000の場合:
 - C: ¥WINNT¥SCmodem¥Atc¥HtmI¥Atc000.HTM
- ・回線を使って通信中はスタンバイ状態、休止状態にしないでください。
- ・分岐アダプタを使ってパソコンと電話機などの両方を電話回線に接続して いる場合、パソコンで回線を使っているときは、電話機などの受話器をはず さないでください。パソコンの通信が妨害され、切断されることがあります。
- ・接続する電話機などの種類によっては、動作しない機種があります。
- ・接続する電話機などの種類によっては、内蔵FAXモデムが正常に通信できない場合があります。内蔵FAXモデムが正常に通信できない場合は、以下のいずれかの方法で、正常に通信できるようになります。
 - 接続する電話機などにアース接続用の端子がある場合は、アース線を つなぐ
 - 内蔵FAXモデムで通信を行うときは、電話機などを取りはずす
- ・構内交換機(PBX)の種類によっては、内蔵FAXモデムが使用できない場合があります。

携帯電話 / PHS接続機能

携帯電話またはPHSを接続することで、屋外でも手軽にインターネットや 電子メールを利用できます。

携帯電話またはPHSとの接続

本機に携帯電話やPHSを接続して、屋外でもインターネットや電子メールを 利用することができます。

携帯電話やPHSを接続するためのUSBケーブルが添付されてるモデルを お使いの場合は、添付のケーブルを使って接続してください。

携帯電話やPHSと接続するためのUSBケーブルが添付されていないモデルをお使いの場合、本機と携帯電話やPHSを接続するためには、別売のケーブルが必要になります。以下の中からいずれかのケーブルを購入して ください。

- ・携帯電話(DoPa/PDC)接続ケーブル(PC-VP-WK05)
- ・cdmaOne接続ケーブル(PC-VP-WK06)
- ・PHS(NTTドコモ/アステル)接続ケーブル(PC-VP-WK07)
- ・PHS(DDIポケット) 接続ケーブル(PC-VP-WK08)

お使いの携帯電話やPHSによって必要なケーブルが異なりますので、ケー ブルを購入する際には、お使いの携帯電話やPHSに合ったケーブルを確認 してください。

接続できる携帯電話またはPHSについては、NECのホームページ 「121ware.com(ワントゥワンウェアドットコム)をご覧ください。 http://121ware.com/

- 1 接続ケーブルのラベルが貼ってあるほうのプラグを、携帯電話またはPHS本体に接続する プラグの向きに注意し、カチッと音がして止まるまで軽く押し込んでください。
- 2 本機のUSBコネクタ(↔)に、接続ケーブルのプラグを接続する ↔のある面を上にして、止まるまで軽く押し込んでください。

接続先を設定する

プロバイダなどへの接続先を、携帯電話またはPHSを使用した接続設定に するときは、「ダイヤルアップネットワーク」で「新しい接続」を作成するときに、 「モデムの選択」でWindows 98モデルをお使いの場合は「SunComm MultiMobile3」、Windows Meモデル、Windows 2000モデルをお使い の場合は「SunComm MultiMobile3 USB」を選んでください。

チェック!
 お使いの携帯電話またはPHSによっては、電話機側に設定が必要な場合や専
 用のアクセスポイントへの接続が必要な場合があります。詳しくは、携帯電話ま
 たはPHSのマニュアルをご覧ください。また専用のアクセスポイントについて
 は、インターネットのサービスプロバイダにお問い合わせください。

ダイヤル設定のしかた

ダイヤルの設定を確認または変更したいときは、次の手順で行います。

Windows Me/Windows 98の場合

1 「コントロールパネル」を開き、「テレフォニー」アイコンをダブルク リックする 「所在地情報」ウィンドウが表示された場合

市外局番の欄に0を除いた市外局番を入力し、「OK」ボタンをクリックしま す。再度、「ダイヤルのプロパティ」ボタンをクリックすると、「ダイヤルのプロパ ティ」ウィンドウが表示されます。必要な項目を確認して設定してください。

携帯電話またはPHSなど、必ず市外局番からダイヤルする必要のある環 境で使用する場合は、市外局番の欄を「000」に設定してください。

「ダイヤルのプロパティ」ウィンドウが開いた場合

ダイヤルのプロパティ ? ×	
所在地情報	
	─── 携帯電話、PHSの場合は、 「000」を入力する

Windows 2000の場合

「コントロールパネル」を開き、「電話とモデムのオプション」アイ コンをダブルクリックする 「電話とモデムのオプション」ウィンドウが表示されます。 はじめてダイヤル設定を行うときは、「所在地情報」ウィンドウが表示されます。このような場合は、次の「「所在地情報」ウィンドウが表示された場合、をご覧になり設定を行ってください。

「所在地情報」ウィンドウが開いた場合

市外局番の欄に0を除いた市外局番を入力し、「0K」ボタンをクリック します。再度、「電話とモデムのオプション」ボタンをクリックすると、「電 話とモデムのオプション」ウィンドウが表示されます。必要な項目を確 認して設定してください。

本機の機能

携帯電話またはPHSなど、必ず市外局番からダイヤルする必要のある環 境で使用する場合は、市外局番の欄を「000」に設定してください。

2「ダイヤル情報」タブで、設定したい所在地名を選んでから「編集」ボタンをクリックする

電話とモデムのオブション ダイヤル情報 ┃モデム ┃ 詳細	8	?
○ 下の一覧には指述 択してのたさい。	定した所在地が表示されています。ダイヤル元の所在は	他を選
所在地(<u>1</u>): 所在地	市外局番	
⑦ 所在地情報	3	
	5549 AN	20.
		<u>u)</u>
	OK キャンセル 道	用(点)

新規にダイヤル設定を行いたい場合は、「新規」ボタンをクリックし、表示された「新しい所在地」ウィンドウで設定を行ってください。

3 「所在地の編集」ウィンドウで設定を行う



4 設定が終わったら、「OK」ボタンをクリックする

携帯電話 / PHS接続機能使用上の注意

- ハイパーターミナルなどを使って通信する場合、ATコマンドが必要です。詳しくは、下記のREADMEファイルをご覧ください。
 - -Windows Me/Windows 98の場合:
 - C:\#Windows\#SCmodem\#Atc\#Html\#Atc000.HTM
 - -Windows 2000の場合:
 - C: ¥WINNT¥SCmodem¥Atc¥HtmI¥Atc000.HTM

いろいろなデータ通信を行う

本機では、通常のデータ通信のほかに、次のようなデータ通信を行うことが できます。

- ・cdmaOneによるデータ通信
- ・NTTドコモのDoPaサービスによるデータ通信
- ・NTTドコモのドッチーモによるPIAFS32Kデータ通信
- ・NTTドコモのドッチーモによるPIAFS64Kデータ通信
- ・NTTドコモの64K対応PHSによるデータ通信
- DDIポケットの32K対応電話機によるPIAFS32Kデータ通信
- ・DDIポケットのH"(エッジ)によるPIAFS64Kデータ通信

これらのデータ通信をご利用になる場合には、それぞれのデータ通信に対応 した接続ケーブルと、「ダイヤルアップの接続」画面での設定が必要になる ことがあります。

✓ チェック? これらのデータ通信をご利用になるときは、アクセスポイントがご利用のデー タ通信に対応していることを確認してください。対応していないデータ通信方式 で接続すると、接続できなかったり、正常に通信できないことがあります。

		必要な接続ケーブル	ダイヤルアップの設定
cdmaOne ¹		cdmaOne接続ケーブル (PC-VP-WK06)	必要ありません。
NTTドコモ	DoPaサービス (パケット通信 サービス)	携帯電話(DoPa/PDC) 接続ケーブル (PC-VP-WK05)	「ダイヤルアップの接 続」画面で、電話番号の 最後に「##02」を追加 する必要があります。 ²
	PHS (64K対応機種)	携帯電話 (NTTドコモ / アステル) 接続ケーブル (PC-VP-WK-07)	「ダイヤルアップの接 続」画面で、電話番号の 最後に「##4」を追加す る必要があります。
	ドッチーモ (PIAFS64K 機種) ³	携帯電話 (DoPa/PDC) 接続ケーブル (PC-VP-WK05)	「ダイヤルアップの接続」画面で、電話番号の 最後に「##4」を追加す る必要があります。
	ドッチーモ (PIAFS32K 機種) ³	携帯電話 (DoPa/PDC) 接続ケーブル (PC-VP-WK05)	「ダイヤルアップの接 続」画面で、電話番号の 最後に「##3」を追加す る必要があります。4
DDI ポケット	PIAFS32K 対応電話機	PHS(DDIポケット) 接続ケーブル (PC-VP-WK08)	「ダイヤルアップの接 続」画面で、電話番号の 最後に「##3」を追加す る必要があります。4
	H"(エッジ)	PHS(DDIポケット) 接続ケーブル (PC-VP-WK08)	「ダイヤルアップの接続」画面で、電話番号の 最後に「##4」を追加す る必要があります。5

1:データ通信を行うには、データ通信モードを「Async」に設定する必要があります。Packet通 信モードをご利用になる場合は、データ通信モードを「Packet」に変更してください。データ通 信モードの切り替えについては、cdmaOneの取り扱い説明書をご覧ください。

2:DoPaサービスを利用せずに9600bpsデータ通信を行う場合、この設定は必要ありません。 3:ドッチーモでPIAFS通信を行う場合には、ドッチーモの待ち受けモードを「PHS専用」に切り替 える必要があります。

4:NTTドコモ、アステル、DDIポケットのPHSをお使いの場合は、この設定は必要ありません。

5:一部の地域では64Kbpsでのデータ通信ができないことがありますが、32Kbpsで接続され ます。また、次のような場合にも、64Kbpsでなく、32Kbpsで接続されることがあります。

・電話番号の最後に「##4」を追加しなかった場合

・回線が混雑している場合

LAN(ローカルエリアネットワーク)

ここでは、LAN内蔵モデルについての説明をしています。

LANへの接続

本機の内蔵LANボードは、100BASE-TXまたは10BASE-Tネットワークシ ステムに接続することができます。

100BASE-TXは、従来のEthernet(10BASE-T)の環境で転送速度 100Mbpsを実現したネットワークです。従来のネットワーク構成を変更せず に既存のハブやリンクケーブルを変更するだけで、高速化がはかれます。 本機は、どちらの環境にも接続することができます。

LANの設置

はじめて100BASE-TXネットワークを設置するためには、配線工事などの技術が必要ですので、ご購入元または当社指定のサービス窓口にお問い合わせください。また、本機に接続するケーブル類やハプなどは、弊社製品を使用してください。他社製品を使用し、システムに異常が発生した場合の責任は負いかねますので、ご了承ください。

接続方法

既存のネットワークに、端末として本機を接続する場合について説明します。

ネットワークへの接続には、リンクケーブルが必要です。 本機に内蔵されているLANインターフェイスは、100Mbpsで動作する 100BASE-TX基準を満たしています。100BASE-TX(100Mbps)で使用 するときには、必ずカテゴリ5のリンクケーブルを使用してください。10BASE-T(10Mbps)で使用するときには、カテゴリ3または5のリンクケーブルを使用 してください。

✓ チェック! 本機を稼働中のネットワークに接続するには、システム管理者またはネットワーク管理者の指示に従って、ネットワークの設定やリンクケーブルの接続を行ってください。

▼チェック! 本機の電源が入っているときは、リンクケーブルを抜き差ししないでください。

- 1 本機を使用中の場合は、本機の電源を切る
- **2** 電源コードのプラグをACコンセントから抜いてから、ACアダプタ を本機から取り外す
- **3** リンクケーブルの一端を、本機のLAN用モジュラーコネクタに、 奥までしっかり差し込む



- 4 リンクケーブルのもう一方を、ネットワーク(100BASE-TXハブなど)に接続する ネットワーク側の接続や設定については、接続するネットワーク側の機器のマニュアルをご覧ください。
- 5 ネットワークへの接続が終了したら、ACアダプタを本機に取り付け、電源コードのプラグをACコンセントに接続する

LANに接続して本機を使用するときは、次の点に注意してください。

- ・システム運用中は、ハブからリンクケーブルを外さないでください。ネット ワークが切断されます。ネットワーク接続中にリンクケーブルが外れたとき は、すぐに接続することで復旧し、使用できる場合もありますが、使用でき ない場合は、本機を再起動してください。
- ・LAN回線を接続してネットワーク通信をするときには、本機にACアダプタ を接続して使用するようにしてください。バッテリパックのみで使用すると、 使用時間が短くなります。
- ・スタンバイ状態(サスペンド)または休止状態(ハイバネーション)では、ネットワーク機能が一旦停止します。ネットワークを使用するアプリケーションによっては、スタンバイ状態または休止状態になったときにデータが失われることがあります。ネットワークを使用するアプリケーションを使う場合は、システム管理者に確認のうえ、スタンバイ状態または休止状態を使用してください。
- ・100BASE-TX/10BASE-Tシステムの保守については、ご購入元または
 当社指定のサービス窓口にお問い合わせください。

ユニバーサル管理アドレス

ユニバーサル管理アドレスは、IEEE(米国電気電子技術者協会)で管理されているアドレスで、主に他のネットワークに接続するときなどに使用します。 ユニバーサル管理アドレスは、次の方法で確認することができます。

MS-DOSプロンプトに、次のコマンドを入力してください。

Windows Me/Windows 98の場合

Winipcfg.exe【Enter】 (ただし、TCP/IPプロトコルが必要です。)

Windows 2000の場合

NET CONFIG WORKSTATION【Enter】 (アクティブなネットワーク、ワークステーションという項目の()内に表示されます。)

本機の運用管理

本機は、システム管理者が効率よく本機をマネジメントするための運用管理、 セキュリティ、資源管理および遠隔操作・保守を行うための機能があります。 システム管理者が効率よくパソコンをマネジメントするために、次のような手 段・機能を利用することが効率的であるといわれています。

- 一般のユーザが、Windowsのシステムに影響のあるファイルを変更・削除したり、アプリケーションをインストールできないようにする
- ・機密データの漏洩、改ざん防止、コンピュータウイルスの侵入を防ぐため、 外部からデータを取り込むフロッピーディスクドライブを使用できないように する(ロックする)
- ・アプリケーションのバージョンアップのために、必要なパソコンのハードウェ ア構成情報(メモリ容量、ハードディスクの空き容量など)、ソフトウェア構成 情報を管理する
- ・ハードウェアに異常が発生したことを一般ユーザやシステム管理者に通知 する
- ・システム管理者のパソコンから管理するパソコンの電源、システムを遠隔 操作できる

このような手段・機能を利用するために、次のようなマネジメント(運用管理) 機能を備えています。

ネットワークブート

管理者パソコンと接続し、次の操作を行うことができます。

- ジチェック!! この機能を使用するには、別途同−LAN上の管理者パソコンで、別売の ESMPRO/ClientManager Ver3.1以上のRemote Install Managerが設定さ れている必要があります。
 - ・OSのセットアップ
 - ・BIOSフラッシュ(BIOS ROMの書き換え)
 - BIOS設定変更

上記の作業を行う際に、ネットワークからの起動が必要になった場合は、本 機起動時に「NEC」ロゴが表示されているときに【F12】を押すとネットワー クブートが可能になります。

チェック!! 【F12】を押し続けても、ネットワークブートができないことがあります。この場合、 再度【F12】を押しながら電源を入れてください。 電源回復(スタンバイ状態からの復帰)の設定

以下の設定を行うと、本機をネットワークに接続して使用しているときに、電源回復イベントを発生させることで、本機をスタンバイ状態から自動的に復帰 させることができます。

Windows Me、Windows 98の場合、リモートパワーオンには、従来からサ ポートされているMagicPacket検出に加えて、電源回復フレーム検出(例 えば、ARPリクエスト、NETBIOS名検索、コンピュータに直接送られてきた IPフレームなどの検出)が追加されています。 ARPリクエスト、NETBIOS名検索、コンピュータに直接送られてきたIPフ レームなどは、コンピュータから不定期に送られてくるため、本機をスタンバ イ状態にしておくと、これらが検出されたときに、不定期にスタンバイから復

帰することがあります。

- ✓ チェック!・電源回復イベントの設定を行った場合は、購入時の設定で使う場合にくらべて、本機のバッテリの消費量が大きくなります。バッテリ駆動時間を優先して本機を使いたい場合は、電源回復イベントの設定は行わずに出荷時の設定で使用してください。
 - ・電源回復イベントを利用するには、電源回復イベントのパケットを発信するパ ソコンに、別売の「DMITOOL Ver8.2(pcAnywhere[™] 9.2 EXコンプリート版 付)」が必要です。

Windows Me/Windows 98の場合

- 1 「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする
- 2 「デバイスマネージャ」タブをクリックする
- 3 「ネットワークアダプタ」をダブルクリックする
- 4 表示されたLANアダプタをダブルクリックする
- 5 「電源の管理」タブをクリックする

6 以下の設定を行う

- ・「節電のためにコンピュータの電源を自動的に切るを「オン」にします。
- ・「コンピュータのスタンバイ解除の管理をこのデバイスで行う」を「オン」にします。

Windows 2000の場合

- 1 「Administrator」でログオンする
- **2**「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリッ クする
- **3**「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタンを クリックする
- 4 「ネットワークアダプタ」をダブルクリックする
- 5 表示されたLANアダプタをダブルクリックする
- 6 「電源の管理」タブをクリックする
- 7 以下の設定を行う
 - ・「電力の節約のために、このコンピュータでデバイスの電源をオフに できるようにする」を「オン」にします。
 - 「このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を元に戻すことがで きるようにする」を「オン」にします。



周辺機器を使う

別売の周辺機器の接続方法や注意事項などを説明しています。



接続できる周辺機器

本機には、次のような別売の周辺機器を接続できます。

本体に接続できる周辺機器一覧

本機のそれぞれのコネクタや端子に接続できる周辺機器について説明します。

本体前面 / 右側面



本体背面





名称	接続できる周辺機器
外部マイクロホン端子	マイクロホン
オーディオ入力端子	オーディオ機器
ヘッドホン / オーディオ 出力端子	ヘッドホン、オーディオ機器など
PCカードスロット	PCカード、SCSI インターフェイスカードなど
	(SCSIインターフェイスカードを使うと、MOドライブ やハードディスクを接続できます)
マウス / テンキーボード 用コネクタ	マウス、テンキーボードなど
シリアルコネクタ	ターミナルアダプタなど
パラレルコネクタ	プリンタ
外部CRT用コネクタ	外部ディスプレイ
USBコネクタ	USB機器
	USBマウス、USBテンキーボード、携帯電話、PHS 端末など(携帯電話、PHS端末を接続する場合 は、携帯電話 / PHS接続ケーブルが必要)
メモリスロット	増設R A M ボード



周辺機器の利用

プリンタや外部ディスプレイなど、本機に接続して使用する機器全般を、周辺機器といいます。本機には、さまざまな周辺機器を接続するためのコネクタやポートが用意されています。

周辺機器利用上の注意





雷が鳴りだしたら、本機や電源コードに触れないでください。また、機器の 接続や取り外しを行わないでください。落雷による感電のおそれがありま す。

⚠注意



周辺機器の取り付け / 取り外しをするときは、本機の電源を切ったあと、 本機と周辺機器の電源コードを抜いてください。電源コードがACコンセン トに接続されたまま、周辺機器の取り付け / 取り外しをすると、感電の原因 となります。

濡れた手で電源コードを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

周辺機器の取り付け / 取り外し時の注意

- ・本機がスリープ状態のときは、周辺機器を取り付けたり取り外したりしないでください。
 本機がスリープ状態のときは、本機を一度元の状態に戻してデータを保存し、電源を切ってから周辺機器の取り付けや取り外しを行ってください。
- ・別売の周辺機器を取り付けるときには、その周辺機器が本機に対応していることを確認してください。また、周辺機器によっては使用上の制限事項がある場合がありますので、周辺機器の説明書などをよくお読みになり使用してください。当社製以外の周辺機器を使用する場合は、機器の製造元/ 発売元などに上記の事項を確認してください。
- ・周辺機器の取り付けや取り外しは、取扱説明書に従って正しく行ってくだ さい。

・周辺機器によっては、専用のケーブルが必要な場合があります。接続する 前に確認のうえご用意ください。

リソースの競合について

周辺機器を増設すると、他の機器とリソースが競合してどちらかが使えなくなることがあります。この場合は、以下の手順でリソースが競合しないように変更してください。

Windows Me/Windows 98の場合

- 1 起動しているアプリケーションをすべて終了する
- 2「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする 「システムのプロパティ」画面が表示されます。
- **3**「デバイスマネージャ」タブをクリックする 「デバイスマネージャ」画面が表示されます。
- 4 や★が表示されていて動作しない周辺機器を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックする
- 5 「プロパティ」画面で「リソース」タブをクリックし、以下の設定を 行う
 - ・Windows Meの場合:
 - 「自動設定」を
 「オフ」にします
 - ・Windows 98の場合: 「自動設定を使う。を
 ■ オフ にします
- 6 競合しているリソースを「リソースの種類」一覧の中から選択し、 ダブルクリックする 「競合するデバイス」欄に、競合しているデバイスと、競合しているリ ソースの種類が表示されます。
- 7 競合しないリソースの値を設定し、「OK」ボタンをクリックする 「競合の情報」欄に競合しているデバイスと競合しているリソースが表示されます。

ジチェック! 他の周辺機器がそのリソースを使用している場合や、「この設定のリソースは変更できません」と表示された場合は、その値への変更はできません。

選択した周辺機器によっては「ポート番号」と「1/0の範囲」など複数の変 更が必要になることがあります。

- 8 リソースが競合していないことを確認し、「プロパティ」画面で 「OK」ボタンをクリックする
- 9 「変更不可の環境設定の作成」のダイアログが表示されるので、 「はい」ボタンをクリックする もとの画面に戻るまでに、しばらく時間がかかることがあります。そのま まお待ちください。
- 10「0K」ボタンをクリックし、「システムのプロパティ」を閉じる
- 11 本機を再起動する

Windows 2000の場合

- 1 起動しているアプリケーションをすべて終了する
- 2「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする 「システムのプロパティ」画面が表示されます。
- **3**「ハードウェア」タブをクリックする
- 4 「デバイスマネージャ」の欄の「デバイスマネージャ」ボタンをク リックする 「デバイスマネージャ」画面が表示されます。
- 5 や★が表示されていて動作しない周辺機器を右クリックし、表示されたメニューから「プロパティ」をクリックする
- 6 「プロパティ」画面で「リソース」タブをクリックし、「自動設定」を □(オフ)にする

- 7 競合しているリソースを「リソースの種類」一覧の中から選択し、 ダブルクリックする 「競合の情報」欄に、競合しているデバイスと、競合しているリソースの 種類が表示されます。
- 8 競合しないリソースの値を設定し、「OK」ボタンをクリックする 設定したリソースの値が他のデバイスと競合している場合、「競合の情 報」欄に競合しているデバイスと競合しているリソースが表示されます。
- ジチェック! 他の周辺機器がそのリソースを使用している場合や、「この構成のリソースを変更できません。」と表示された場合は、その値への変更はできません。

選択した周辺機器によっては「ポート番号」と「1/0の範囲」など複数の変 更が必要になることがあります。

- 9 リソースが競合していないことを確認し、「プロパティ」画面で 「OK」ボタンをクリックする
- 10 「変更不可の構成を作成しています」のダイアログが表示されるので、「はい」ボタンをクリックする もとの画面に戻るまでに、しばらく時間がかかることがあります。そのままお待ちください。
- 11 右上の区をクリックし、「デバイスマネージャ」を閉じる
- 12「OK」ボタンをクリックし、「システムのプロパティ」を閉じる
- **13** 本機を再起動する

周辺機器を使えるようにセットアップする

周辺機器を使うには、接続した周辺機器用のデバイスドライバを本機にセットアップする必要があります。デバイスドライバとは、本機と周辺機器との仲介をする周辺機器専用のソフトウェアのことです。

✓ チェック! デバイスドライバが正しく組み込めなかった場合は、周辺機器が使用できない ばかりか、本機の動作が不正になることがあります。その場合は、周辺機器のマ ニュアルにしたがって、再度デバイスドライバを正しく組み込んでください。 デバイスドライバのセットアップ方法は、周辺機器がプラグ&プレイ機能に対応しているかどうかによって異なります。

・「 プラグ& プレイ機能」対応の周辺機器の場合

機器を本機に接続してWindowsを起動すると、自動的にドライバの設定が 行われて機器が使用可能な状態になります。

本機には、プラグ&プレイ機能用に多くの周辺機器のドライバがあらかじめ 添付されています。接続しようとする周辺機器がプラグ&プレイ機能に対 応しており、かつ添付されたドライバの中に該当するものがあれば、周辺機 器の検出と設定が自動的に行われます。

・「プラグ&プレイ機能」に対応していない周辺機器の場合 機器を本機に接続した後、ドライバの設定が必要な場合があります。設定 の詳細は、本機やドライバに添付のREADMEファイルや周辺機器のマ ニュアルをご覧ください。

READMEファイルは、「メモ帳」などのテキスト形式のファイルが開けるア プリケーションで簡単に見ることができます。

周辺機器の電源を入れる / 切る順序

本機に周辺機器を接続しているときには、次の順序で電源を入れたり、切ったりしてください。

電源を入れるとき

周辺機器の電源を入れる本機の電源を入れる

電源を切るとき

本機の電源を切る
周辺機器の電源を切る

プリンタ

プリンタを使用するには、そのプリンタ機種に対応した専用のドライバが必要です。ドライバは通常フロッピーディスクなどの形でプリンタに添付されています。また、本機にも代表的なプリンタのドライバが数多く添付されています。

プリンタの接続

本機のパラレルコネクタにプリンタを接続するときは、25ピンパラレルインター フェイスに対応したプリンタケーブルが必要です。 また、プリンタによっては、本機のUSBコネクタに接続できる機種もあります。

- 参照 USB対応プリンタを使う このPARTの「USBコネクタ(p.134)
 - 1 本機を使用中の場合は、本機の電源を切る
 - 2 電源コードのプラグをACコンセントから抜いてから、ACアダプタ を本機から取り外す
 - 3 本機のパラレルコネクタにプリンタケーブルの小さいほうのコネ クタを向き(上下)に注意して差し込む



プリンタケーブルの大きい方のコネクタをプリンタのコネクタに
 差し込む
 接続についてはプリンタのマニュアルもご覧ください。

プリンタの設定

プリンタの設定は、使用するプリンタの機種ごとに、Windowsの「プリンタ」 ウィンドウで行います。例えば、会社で使うプリンタと家庭で使うプリンタの機 種が異なる場合は、それぞれの機種に対して設定を行う必要があります。 プリンタの設定について詳しくは、お使いのプリンタのマニュアルをご覧くだ さい。
マウス

本機では、添付または別売のマウスを使用することができます。ここでは、別売のマウスを使用するための手順を説明しています。

別売のマウスの設定方法

本機では、別売のUSBマウス、シリアルマウス、PS/2互換マウスを使用する ことができます。

 チェック? マウスドライバの変更を行うとき、一時的にマウスやNXパッドなどのポイン ティングデバイスが使用できなくなる場合があります。その場合は次のように キーボードを使って本機を再起動してください。

キーボードでの再起動

【Ctrl 】を押しながら【Esc 】を押す

カーソル移動キーで「Windowsの終了」を選択し【Enter】を押す

カーソル移動キーで「再起動」または「再起動する」を選択し、【Enter】を 押す

USBマウスを使用する

本機でUSBマウスを使用する場合は、以下の手順で設定を行ってください。

- ✓ チェック?・購入時はNXパッドドライバはインストールされていません。NXパッドドライバ のインストールについては、PART1の「NXパッド」の「NXパッドドライバをイ ンストールする (p.28)をご覧ください。
 - ・マウスドライバの変更を行うときは、使用中のアプリケーションをすべて終了 させてください。

Windows Me/Windows 98の場合

- 「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする
 「システムのプロパティ」画面が表示されます。
- 2 「デバイス マネージャ」タブをクリックする
- 3 「マウス」の左の王をクリックする

- 4 「NX PAD」を選択し「プロパティ」ボタンをクリックする 「NX PADプロパティ」または「NX PADのプロパティ」画面が表示されます。
- 5 「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」ボタンをクリック する 「デバイスドライバの更新ウィザード」画面が表示されます。
- 6 次の操作を行う
 - Windows Meの場合
 「ドライバの場所を指定する(詳しい知識のある方向け)」を選択し、
 「次へ」ボタンをクリックする
 - Windows 98の場合
 「次へ」ボタンをクリックする

7 次のものを選択し、「次へ」ボタンをクリックする

- ・Windows Meの場合 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を表示し、インストールす るドライバを選択する」
- Windows 98の場合
 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」
- 8 「モデル」から「標準PS/2ポートマウス」を選択し、「次へ」ボタンを クリックする
- ✓ チェック??
 ・「 モデル」に「標準PS/2ポートマウス」が表示されていない場合は、「すべての ハードウェアを表示」をクリックして「製造元」から「標準マウス」を選択し、「モ デル」から「標準PS/2ポートマウス」を選択してください。
 - ・「ドライバ更新の警告」画面が表示された場合は、「はい」ボタンをクリックして ください。

9「次へ」ボタンをクリックする 必要なファイルがコピーされます。

10「ハードウェアデバイス用に選択したドライバがインストールされました。」と表示されたら、「完了」ボタンをクリックする

✓ チェック!! ポインタが動かなくなった場合は、【Enter 】を押してください。

- 11 再起動を促すメッセージが表示された場合はいいえ」ボタンを クリックする
- 12「標準PS/2ポートマウスのプロパティ」画面の「閉じる」ボタンを クリックする
- 13 「システムのプロパティ」画面の「閉じる」ボタンをクリックする

14 本機を再起動する 「システムの設定変更」画面が表示された場合は、「はい」ボタンをク リックします。

本機が再起動します。

再起動後、USBマウスを接続してください。

- ✓ チェック! Windows Meの場合は、「マウスのプロパティ」で「ポインタの速度」の設定を変更すると、USBマウスを動かしても、マウスポインタが正常に動作しない場合があります。この場合は、次の手順でポインタの速度を標準設定に戻してください。
 - 1 「コントロールパネル」を開き、「マウス」アイコンをダブルクリック する 「マウスのプロパティ」が表示されます。
 - 2 「ポインタ オプション」タブをクリックする
 - 3 「ポインタの速度」を左から5番目の設定にする
 - 参照 マウスドライバのインストール方法 各機器のマニュアル

Windows 2000の場合

「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする
 「システムのプロパティ」画面が表示されます。

- **2**「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタンを クリックする
- **3**「マウスとそのほかのポインティングデバイス」の左の手をクリッ クする
- **4**「NX PAD」をダブルクリックする 「NX PADのプロパティ」画面が表示されます。
- **5**「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」ボタンをクリック する 「デバイスドライバのアップグレードウィザード」画面が表示されます。
- 6 「次へ」ボタンをクリックする
- 7「このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 8 「モデル」から「標準PS/2ポートマウス」を選択し、「次へ」ボタンを クリックする
- - ・「ドライバの更新警告」画面が表示された場合は、「はい」ボタンをクリックして ください。
 - 9 「次へ」ボタンをクリックする 必要なファイルがコピーされます。「デバイスのインストールの確認」画 面が表示された場合は「はい」ボタンをクリックしてください。
 - 10 「デバイスドライバのアップグレードウィザードの完了」と表示されたら、「完了」ボタンをクリックする
 - 11 「閉じる」ボタンをクリックする 「システム設定の変更」画面が表示されます。

12「はい」ボタンをクリックする 本機が再起動します。

再起動後、USBマウスを接続してください。

参照 / マウスドライバのインストール方法 各機器のマニュアル

シリアルマウスを使用する

本機でシリアルマウスを使用する場合は、以下の手順で設定を行ってください。

▼チェック! 接続するときは、必ず本機の電源を切ってから接続してください。

Windows Me/Windows 98の場合

- 1 シリアルマウスを本機のシリアルコネクタに接続する
- 2「コントロールパネル」を開き、「ハードウェアの追加」アイコンをダ ブルクリックする 「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。
- 3 「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「デバイスは一覧にない」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 6 「はい(通常こちらを選択してください)」を選択し、「次へ」ボタン をクリックする
- 7 「プラグアンドプレイで検出されなかった新しいデバイスを検出しま す。」とメッセージが表示されたら「次へ」ボタンをクリックする

▼チェック! ハードウェアの検出には数分かかる場合があります。

- 8 ハードウェアの検出が完了したら「詳細」ボタンをクリックし、「シリアルマウス」が認識されたことを確認する
- 9 「完了」ボタンをクリックする

▼チェック! シリアルマウスが動作しない場合は、本機を再起動してください。

Windows 2000の場合

- 1 シリアルマウスを本機のシリアルコネクタに接続する
- 2「コントロールパネル」を開き、「ハードウェアの追加と削除」アイコンをダブルクリックする 「ハードウェアの追加と削除ウィザード」が表示されます。
- 3 「次へ」ボタンをクリックする
- **4**「次へ」ボタンをクリックする 「新しいハードウェアの検出」が表示されます

▼チェック! ハードウェアの検出には数分かかる場合があります。

- 5 検出されたシリアルマウスを選択し、「次へ」ボタンをクリックする 「ハードウェアの追加と削除ウィザードの完了」が表示されます。
- 6 「完了」ボタンをクリックする

♥ チェック! シリアルマウスが動作しない場合は、本機を再起動してください。

PS/2互換マウスを使用する

本機でPS/2互換マウスを使用する場合は、以下の手順で設定を行ってください。

- 1 本機の電源を切る
- 2 マウス / テンキーボード用コネクタ(::::::: 0)にPS/2互換マウスを 接続する

マウスに専用のドライバが添付されている場合は、マウスのマニュアルにしたがってドライバの変更を行ってください。

NXパッドを使用する設定に戻す

 ✓ チェック / 購入時はNXパッドドライバはインストールされていません。NXパッドドライバ のインストールについては、PART1の「NXパッド」の「NXパッドドライバをイン ストールする (p.28) をご覧ください。

Windows Me/Windows 98の場合

- 「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする
 「システムのプロパティ」画面が表示されます。
- 2 「デバイス マネージャ」タブをクリックする
- 3 マウス」の左の手をクリックする
- 4 現在使用しているマウスを選択し、「プロパティ」ボタンをクリック する 現在使用しているマウスのプロパティ画面が表示されます。
- 5 「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」ボタンをクリック する 「デバイスドライバの更新ウィザード」画面が表示されます。
- 6 次の操作を行う
 - ・Windows Meの場合 「ドライバの場所を指定する(詳しい知識のある方向け)」を選択し、 「次へ」ボタンをクリックする
 - ・Windows 98の場合 「次へ」ボタンをクリックする
- 7 次のものを選択し、「次へ」ボタンをクリックする
 - ・Windows Meの場合
 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を表示し、インストールするドライバを選択する」
 - ・Windows 98の場合
 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」

- 8 「ディスク使用」ボタンをクリックする
- 9 「C: ¥NX PAD」と入力し、「OK」ボタンをクリックする
- 10 「次へ」ボタンをクリックする
- 11 「次へ」ボタンをクリックする 必要なファイルがコピーされます。
- 12 「ハードウェアデバイス用に選択したドライバがインストールされ ました」と表示されたら、「完了」ボタンをクリックする
- 13 再起動を促すメッセージが表示された場合は「いいえ」ボタンを クリックする
- 14「NX PADプロパティ」または「NX PADのプロパティ」画面の「閉 じる」ボタンをクリックする
- 15 「システムのプロパティ」画面の「閉じる」ボタンをクリックする

16 本機を再起動する

再起動後、NXパッドが有効になります。再起動してもポインタが動かない場合は、キーボードを使用して本機をもう一度再起動してください。

Windows 2000の場合

- 1 「Administrator」でログオンする
- 2 使用中のアプリケーションをすべて終了する
- 3 「コントロールパネル」を開き、「マウス」アイコンをダブルクリック する 「マウスのプロパティ」画面が表示されます。
- 4 「ハードウェア」タブをクリックし、現在使用しているマウスを選択してから「プロパティ」ボタンをクリックする 現在使用しているマウスのプロパティ画面が表示されます。

- **5**「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」ボタンをクリック する 「デバイスドライバのアップグレードウィザード」画面が表示されます。
- 6 「次へ」ボタンをクリックする
- 7 「このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択 する」を選択して、「次へ」ボタンをクリックする
- 8 「ディスク使用」ボタンをクリックする
- 9 「参照」ボタンをクリックする
- **10**「ファイルの場所」に「C:¥WIN2K¥NXPAD」を指定する
- 11 「Apfiltr.inf」を選択し、「開く」ボタンをクリックする
- 12「OK」ボタンをクリックする
- **13**「NX PAD」をクリックし、「次へ」ボタンをクリックする
- 14「次へ」ボタンをクリックする 必要なファイルがコピーされます。 「デジタル署名が見つかりませんでした」画面が表示された場合は、 「はい」ボタンをクリックしてください。
- 15 「完了」ボタンをクリックする
- 16 「閉じる」ボタンをクリックする
 - 「システム設定の変更」画面が表示されます。
- **17**「はい」ボタンをクリックして本機を再起動する 本機が再起動すると、設定が有効になります。

他社製のマウスドライバを使用するときの注意

他社製のマウスには、独自のマウスドライバが添付されているものがあります。他社製のマウスドライバのインストール、アンインストールは以下の手順で行ってください。

● チェック! マウスドライバを変更するときは、使用中のアプリケーションをすべて終了させ てください。

他社製のマウスドライバをインストールする

- 「USBマウスを使用する(p.109)の手順1~11を行い、マウス ドライバを「標準PS/2ポートマウス」に設定する
- 2 他社製のマウスドライバをインストールする
- 参照 マウスドライバのインストール マウスのマニュアル

他社製のマウスドライバをアンインストールする

- 1 他社製のマウスドライバをアンインストールする
- 参照/マウスドライバのアンインストール マウスのマニュアル
 - **2**「USBマウスを使用する(p.109)の手順1~11を行い、マウス ドライバを「標準PS/2ポートマウス」に設定する
 - 3 「NXパッドを使用する設定に戻す(p.115)の手順に従い、NX パッドを使用する設定に戻す



外部ディスプレイ

本機にCRTディスプレイやプロジェクタ、テレビなどを接続することができます。CRTディスプレイの大画面で作業したり、プロジェクタを使ったプレゼンテーションなどが可能になります。

CRTディスプレイの接続

CRTディスプレイ接続時の解像度と表示色

別売のCRTディスプレイでは、標準で次の解像度と表示色を表示できます。

表示解像度	水平走査	垂直走査	表示色		
(ドット)	周波数(KHz)	周波数(Hz)	256色	65,536色	1,677万色
640 × 480	31.5	60			
	37.5	75			
	43.3	85			
800 × 600	37.9	60			
	46.9	75			
	53.7	85			
1,024×768	48.4	60			
	60.0	75			
	68.7	85			
1,280×1,024	64.0	60			×
	80.1	75			×
	91.1	85			×
1,600×1,200	75.0	60			×

:表示可能

x:表示不可能

 ◆チェック? お使いになるCRTディスプレイによっては、上の表に記載されている走査周波 数や解像度に対応していない場合があります。CRTディスプレイをご使用の際 は、CRTディスプレイのマニュアルで、対応している走査周波数や解像度を確 認してください。

- 1 本機を使用中の場合は、本機の電源を切る
- **2** 電源コードのプラグをACコンセントから抜いてから、ACアダプタ を本機から取り外す
- 3 ディスプレイ用ケーブルを本機の外部CRT用コネクタ(□)に差し込み、ネジを回して固定する



4 本機にACアダプタを接続する CRTディスプレイを接続した場合、本機はACアダプタでお使いください。

プロジェクタの接続

本機には、別売のプロジェクタを接続することができます。プロジェクタは、プレゼンテーションなどに利用することができます。

液晶プロジェクタと解像度について

別売の液晶プロジェクタを使用する場合は、プロジェクタのマニュアルを参考にして表示解像度などを確認してください。

外部ディスプレイの設定

表示ディスプレイの切り替え

別売のCRTディスプレイなどを接続した場合、キーボードの【Fn】を使って、 次のように表示するディスプレイを切り替えることができます。

機能	キー操作	説明
ディスプレイ切り替え _//口	[Fn]+[F3]	別売のCRTディスプレイが接続 されているとき、キーを押すごと に、「液晶ディスプレイとCRTの 同時表示」「液晶ディスプレ イ」「CRT」の順に切り替わり ます。

ディスプレイに合わせて本機を設定する

別売のCRTディスプレイを使用したとき、表示されたメッセージが適切でなかったり、プラグ&プレイに対応していないディスプレイの場合には、次の操作を行ってください。

Windows Me/Windows 98の場合

- 1 「コントロールパネル」を開き、「画面」アイコンをダブルクリックする 「画面のプロパティ」が表示されます。
- 2 「設定」タブをクリックし、「詳細」ボタンをクリックする
- **3**「モニタ」タブをクリックし、「変更」ボタンをクリックする 「デバイスドライバの更新ウィザード」が表示されます。
- 4 次の操作を行う
 - ・Windows Meの場合
 - 「ドライバの場所を指定する(詳しい知識のある方向け)」を選択し、 「次へ」ボタンをクリックする

・Windows 98の場合 「次へ」ボタンをクリックする

5 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を表示し、インストー ルするドライバを選択する」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする

- 6 「すべてのハードウェアを表示」を選択する
- 7「デバイスドライバの更新ウィザード」の一覧から「製造元」と「モデル」を選択する 一覧に、接続したディスプレイのモデルが表示されない場合は、「製造元」で「(標準モニタの種類)」を選択し、「モデル」で接続したディスプレイに対応した解像度を選択してください。
- 8 「次へ」ボタンをクリックし、再び「次へ」ボタンをクリックする
- 9 「完了」ボタンをクリックし、「閉じる」ボタンをクリックする
- **10**「OK」ボタンをクリックする これでディスプレイの設定が完了しました。

Windows 2000の場合

- **1**「コントロールパネル」を開き、「画面」アイコンをダブルクリックする 「画面のプロパティ」が表示されます。
- 2 「設定」タブをクリックし、「詳細」ボタンをクリックする
- **3**「モニタ」タブをクリックし、「プラグアンドプレイモニタ」または 「既定のモニタ」を選択する
- 4 「プロパティ」ボタンをクリックする
- **5**「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」ボタンをクリック する 「デバイスドライバのアップグレードウィザード」が表示されます。
- 6 「次へ」ボタンをクリックする
- 7「このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 8 「このデバイスクラスのハードウェアをすべて表示」を選択する

9 「製造元」と「モデル」を選択する

一覧に、接続したディスプレイのモデルが表示されない場合は、「製造 元」で「(標準モニタの種類)」を選択し、「モデル」で接続したディスプ レイに対応した解像度を選択してください。

- 10 「次へ」ボタンをクリックし、再び「次へ」ボタンをクリックする
- 11 「完了」ボタンをクリックし、「閉じる」ボタンをクリックする
- 12「OK」ボタンをクリックする これでディスプレイの設定が完了しました。

PCカード

本機ではPC Card Standard準拠のPCカードを使用できます。PCカード を使うことで、本機の機能を拡張したり、さまざまな周辺機器を接続するこ とができます。

使用上の注意

PCカードスロットについて

- ・TYPE IかTYPE IIのPCカードを上下のスロットに1枚ずつ2枚まで、また は上下のスロットを合わせて1枚のTYPE IIIのPCカードを使用できます。
- ・CardBus対応のPCカードは、ソケット2(スロット1) またはソケット1(スロット0) の両方で同時に使うことができます。
- ・本機のPCカードスロットでは、PC Card Standardに準拠していないPC カードは使用できません。対応していないPCカードを無理に押し込むと、 故障の原因となります。
- ・Windows 98のMS-DOSモードでは使用できません。



PCカードの取り扱いについて

PCカードは精密にできています。PCカードやスロットの故障を防ぐため、次の点に注意してください。

- ・高温多湿あるいは低温の場所に放置しないでください。
- ・濡らさないでください。
- ・重いものを乗せたり、ねじ曲げたりしないでください。
- ・ぶつけたり、落としたりして衝撃を与えないでください。
- ・PCカードの端子部分に金属などを差し込まないでください。

- ・Windows Me / Windows 98では、ATAカードをセットしていると、カード をセットしていないときよりもスタンバイ状態または休止状態になるまでに 時間がかかります。
- ・Windows Me / Windows 98では、マルチファンクションカードとATAカー ドを同時にセットして使用するときは、下側のスロットにマルチファンクショ ンカードを、上側のスロットにATAカードをセットしてください。
- ・Windows Me / Windows 98では、CardBus対応PCカードのドライバを インストールしているときに、「例外エラー」が発生する場合があります。この 場合、本機を再起動すると、正常にインストールを完了することがあります。

PCカードのセットのしかたと取り出し方



本機の使用中や使用直後はPCカードが熱くなっていますので、出し入れ にご注意ください。

チェック! ・PCカードには表と裏があり、スロットに差し込む方向も決まっています。まち がった向きで無理やり差し込むと、コネクタやスロットを破損するおそれがあ ります。

▲注意

- ・本機がスリープ状態のときは、PCカードをセットしたり、取り出したりしないでください。本機の機器構成が変更されると、データが消失してしまうことがあります。
- アプリケーションを使用中は、PCカードをセットしたり、取り出したりしないで ください。

PCカードのセットのしかた

1 PCカードの差し込む向きを確認し、ラベル面を上にして、水平に 静かに差し込む PCカードの取り出し方

Windows Me/Windows 2000の場合

- 1 インジケータ領域、タスクトレイ)にある。をダブルクリックする 「ハードウェアの取り外し」画面が表示されます。
- 2 取り外したNPCカードを選択し、「停止」ボタンをクリックする
- 3 「OK」ボタンをクリックする 安全に取り外せるという内容のメッセージが表示されます。
- 4 「OK」ボタンをクリックする
- 5 「閉じる」ボタンをクリックして、「ハードウェアの取り外し」画面を 閉じる
- **6** PCカードイジェクトボタンを押す ボタンが手前にとび出します。
- 7 もう一度PCカードイジェクトボタンを押す
- 8 PCカードが少し出てくるので、水平に静かに引き抜く

上記の手順を使わずにPCカードを抜きとった場合は、「予期しないPCカードの取り外しょまたは「デバイスの取り外しの警告」ウィンドウが表示される場合があります。

Windows 98の場合

- インジケータ領域、タスクトレイ)にある、をダブルクリックする 「PCカード(PCMCIA)のプロパティ」が表示されます。
- **2** 取り外したいPCカードをクリックする
- 3 「停止」ボタンをクリックする しばらくすると、「このデバイスは安全に取りはずせます」と表示されます。
- 4 「OK」ボタンをクリックする

5 PCカードイジェクトボタンを押す ボタンが手前にとび出します。

6 もう一度PCカードイジェクトボタンを押す

7 PCカードが少し出てくるので、水平に静かに引き抜く

上記の手順を使わずにPCカードを抜きとった場合は、「予期しないPCカードの取りはずし」ウィンドウが表示される場合があります。

PCカードの設定

PCカードを使用するときには、次のような設定が必要な場合があります。

割り込みレベルの設定

PCカードによっては、割り込みレベルの設定が本機の他の設定と重なる場合があります。PCカードのマニュアルと、このマニュアルのPART4の「割り込みレベルとDMAチャネル(p.168)をご覧になり、割り込みレベルが重なっていないか確認してください。割り込みが重なる場合は、重ならないように設定を変更してください。



メモリ

オプションの増設RAMボードを付加することで、より多くのアプリケーションを同時に起動したり、大きなデータをより高速に扱うことができるようになります。

メモリ容量について

本機に使用できる増設RAMボードは次のとおりです。

型名	メモリ容量		
PK-UG-M024	64Mバイト		
PK-UG-M025	128Mバイト		

本機にはメモリスロットが2つあり、最大256Mバイトまでメモリを増設することができます。

メモリの取り付け方と取り外し方



⚠注意

増設RAMボードの取り付け/取り外しをするときは、本機の電源を切った あと、電源コードとバッテリパックを取り外してください。電源コードやバッ テリパックが取り付けられたまま増設RAMボードの取り付け/取り外しを すると、感電の原因となります。

- ✓ チェック!・増設RAMボードは静電気に大変弱く、身体に静電気を帯びた状態で増設 RAMボードを扱うと破損する原因となります。増設RAMボードに触れる前に、 アルミサッシやドアのノブなど身近な金属に手を触れて、静電気を取り除い てください。
 - ・増設RAMボードのコネクタ部分には手を触れないでください。接触不良など、 故障の原因となります。
 - ・ボード上の部品やハンダ付け面には触れないよう注意してください。
 - ・増設RAMボードを間違った向きで無理に取り付けようとすると、本機のコネク タ部や増設RAMボードが故障する原因となります。取り付け方向に注意して ください。

- 1 本機を使用中の場合は、本機の電源を切る
- **2** 電源コードのプラグをACコンセントから抜いてから、ACアダプタ を本機から取り外す
- 3 液晶ディスプレイを閉じて、本機を裏返す
- 4 バッテリパックを本機から取り外す(p.59)
- **5** 図のネジをプラスドライバで取り外し、メモリスロットカバーを取り外す



6 増設RAMボードの切り欠き部分を本機コネクタの突起部に合わせ、本機コネクタに対して約30度の挿入角度で、増設RAMボードの端子が当たるまで挿入する



チェック! 挿入するときに、固いことがありますが、奥までしっかり押し込んでください。しっ
 かり押し込まずに次の手順を行うと、コネクタを破損するおそれがあります。



7 カチッと音がする位置まで増設RAMボードを本機のコネクタに 強く倒し込む



♥ チェック! 増設RAMボードがコネクタにしっかりロックされたことを確認してください。



8 メモリスロットのカバーを元に戻し、外したネジを本機底面に取り 付ける

9 バッテリパックとACアダプタを取り付ける

Windows 98の場合、休止状態の機能 p.64 を使用する方は、続けて次の手順10~11の操作を行ってください。設定を行わないと、休止状態の機能が使用できなくなります。

Windows MeおよびWindows 2000の場合、手順10~11の操作は必要ありません。

10 本機の電源を入れる

11 休止状態の設定を解除したあと、休止状態を再設定する 「休止状態の設定の解除と再設定 (p.70)の手順にしたがって設 定を行ってください。

メモリ増設後は、次の「増設したメモリ(RAM)の確認」に従って、増設が 正しく行われたかどうか確認してください。

増設したメモリ(RAM)の確認

増設が正常に行われ、メモリが本機に認識されているかどうかを確認します。

- 1 「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリッ クする
- 2「全般」タブで右下に表示されている内容を確認する 「***KB RAM」または「***MB RAM」と表示されています。** *KBまたは***MBが総メモリ容量です。
- チェック! システムの状態によっては、増設したメモリ分より容量が少なく表示される場合 がありますが、故障ではありません。

メモリ容量が増えていない場合は、次のことを確認してください。

- ・増設RAMボードが正しく取り付けられているか
- ・本機で使用できる増設RAMボードを取り付けているか

ハードディスクの空き容量を確認する

Windows MeまたはWindows 2000で休止状態の機能(p.64)を使用 する場合は、次の手順1~4の操作を行って設定を確認してください。増設し たメモリ容量分、ハードディスクの空き容量が必要になります。

- 1 本機の電源を入れる
- 2 「コントロールパネル」を開き、「電源の管理」または「電源オプション」アイコンをダブルクリックする 「電源の管理のプロパティ」画面または「電源オプションのプロパティ」 画面が表示されます。
- 3 「休止状態」タブをクリックする
- 4 「休止のためのディスク領域」欄で、「ディスクの空き領域」の値が「休止状態にするために必要なディスク領域」の値よりも大きいことを確認する
- ✓ チェック!!「ディスクの空き領域」の値が「休止状態にするために必要なディスク領域」の 値より小さいと休止状態にできなくなります。このような場合は、不要なファイ ルを削除するなどしてディスクの空き領域を増やしてください。

増設RAMボードの取り外し方

- 1 「増設RAMボードの取り付け方」の手順1~5に従って、メモリス ロットのカバーを取り外す
- 2 コネクタの両端部分を左右に押し広げる 増設RAMボードが図のようにおきあがります。



- 3 そのまま増設RAMボードを斜めに引き抜く
- 4 メモリスロットのカバーを元に戻し、外したネジを本機底面に取り 付ける

5 バッテリパックを取り付ける

Windows 98の場合、休止状態の機能 p.64 を使用する方は、続けて次の手順6~7の操作を行ってください。設定を行わないと、休止状態の機能が使用できなくなります。

Windows MeおよびWindows 2000の場合、手順6~7の操作は必要あり ません。

6 本機の電源を入れる

▼チェック! 起動直後にメッセージが表示されますが、ご使用上支障ありません。

7 休止状態の設定を解除したあと、休止状態を再設定する 「休止状態の設定の解除と再設定(p.70)の手順にしたがって設 定を行ってください。



USB対応の機器は、一般の周辺機器と異なり、パソコンの電源を入れた状態のまま、接続したり取り外すことができます。

USBとは

本機にはUSB対応機器を取り付けるためのコネクタが2つあります。USBと はUniversal Serial Busの頭文字をとったもので、コネクタの形状が統一 されており、127台までの機器を接続することができます。また、電源を切らず にプラグの抜き差しが可能で、プラグ&プレイ機能にも対応しています。 現在利用できる主なUSB対応機器として、次のようなものがあります。

- ・マウス・キーボード
- ・プリンタ ・テンキーボード
 - ・携帯電話接続ケーブル
- ・デジタルカメラ ・PHS接続ケーブル

・イメージスキャナ

・ISDNターミナルアダプタ など

USB対応機器の、本機での動作確認情報については、各機器に添付のマ ニュアルをご覧いただくか、各機器の発売元にお問い合わせください。 なお、NEC製のUSB機器の情報は、NECのホームページ^T121ware.com (ワントゥワンウェアドットコム)をご覧ください。 http://121ware.com/

USBコネクタに接続する



⚠警告

雷が鳴りだしたら、本機や電源ケーブル、ACアダプター、モジュラーケー ブル(電話線) USBケーブルに触れたり、周辺機器の取り付け、取り外し をしないでください。落雷による感電のおそれがあります。

接続する前に

機器によっては、接続する前や接続したあとにドライバのインストールや、各 種設定スイッチなどの設定が必要な場合がありますので、接続するUSB対 応機器のマニュアルを読んでおき、ドライバなどインストールに必要なCD-ROMやフロッピーディスクが添付されていれば用意しておいてください。 別売のUSBマウスなどには、接続してすぐ使うことができるものがありま す。ただし、いくつかの機能が制限される可能性がありますので、必ず添付 のマニュアルをよく読んでください。

USB対応機器は、パソコンの電源を入れたままの状態でも接続できますので、接続前に電源を切る必要はありません。

接続するときの注意

- ・「デバイスマネージャ」の画面にある「ユニバーサルシリアルバスコントロー ラ」または「Universal serial bus controller」の記述は削除しないでく ださい。
- ・USB対応機器の抜き差しを行うときは、3秒以上の間隔をおいて行ってく ださい。
- ・USBコネクタにプラグをすばやく差したり斜めに差したりすると、信号が読みとれずに不明なデバイスとして認識されることがありますので、その場合はプラグをUSBコネクタから抜いて、もう一度正しく接続しなおしてください。
- ・はじめてUSB対応機器を接続したときに、画面に何も表示されない場合 は、USBコネクタにプラグを正しく差し込めていない可能性があります。 いったんプラグを抜き、再度差し込んでみてください。 なお、USB対応機器は、一度設定をすれば、次回からはプラグを差し込 むだけですぐに機器が使用可能になります。このとき画面には何も表示 されませんが、故障ではありません。
- ・スタンバイ サスペンド)状態中、スタンバイ サスペンド)状態へ移行中、ス タンバイ サスペンド)状態から復帰(レジューム)中、休止状態中、休止状態 へ移行中、休止状態から復帰中のときは、USB対応機器を抜き差ししない でください。
- ・USB対応機器を接続した状態では、スタンバイ状態に移行できない場合 があります。スタンバイ状態に移行する前にUSB対応機器をはずしてくだ さい。
- ・USBマウス使用時にNXパッドを無効にしたい場合は、BIOSセットアップ メニューの「NXパッド&PS/2マウス」の設定を「使用しない」にしてください (p.146)。
- ・USBハブ経由でUSB対応機器を使用するときは、USBハブを本機に接続してからUSB対応機器を接続するようにしてください。USBハブにUSB対応機器を接続した状態でUSBハブを本機に接続すると、USB対応機器が正常に認識されないことがあります。

1 USBコネクタにプラグを差し込む



接続したUSB対応機器が正しくパソコンに認識されたかどうかを確認して ください。確認する方法は、機器の種類によって異なります。機器によって は、接続後さらに別の設定作業が必要になる場合があります。詳しくは、各 USB対応機器に添付のマニュアルなどをご覧ください。

USBコネクタから機器を取り外す

ジチェック! USB対応機器は、必ず次の手順で取り外しを行ってください。正しい手順で取り外しを行ってください。正しい手順で取り外しを行わないと本機が正常に動作しなくなることがあります。

Windows Me/Windows 2000の場合

- インジケータ領域、タスクトレイ)にある
 をダブルクリックする
 「ハードウェアの取り外し」画面が表示されます。
 が表示されていない場合は手順6へ進んでください。
- 2 取り外したい機器名をクリックして「停止」ボタンをクリックする 機器名が表示されていない場合は、手順5へ進んでください。
- 3「ハードウェア デバイスの停止」画面で取り外したい機器名をク リックして「OK」ボタンをクリックする 安全に取り外すことができるという内容のメッセージが表示されます。

- 4 「OK」ボタンをクリックする
- 5 「閉じる」ボタンをクリックして「ハードウェアの取り外し」画面を閉じる

6 取り外す機器のプラグを、本体のUSBコネクタから取り外す

Windows 98の場合

1 取り外す機器のプラグを、本体のUSBコネクタから取り外す

別売の外付けUSBキーボードの接続

別売の外付けUSBキーボードは、USBコネクタに取り付けます。別売の外付けUSBキーボードには、USBコネクタが用意されており、別売のUSB機器を取り付けることができます。

◆チェック! セーフモードやWindows 98のMS-DOSモードで起動したときは、外付けUSB キーボードを使うことはできません。

> 外付けUSBキーボードの設定は、本機のキーボードと同じように、Windows で設定することができます。

その他の機器

本機で使用できるその他の機器

本機では、次のような別売の機器を使用することができます。

種類	機器
オーディオ機器	ヘッドホン、マイクロホン、オーディオ装置など
入力装置	マウス、外付けキーボード、テンキーボード、デジタルカメラ、イメー ジスキャナなど
通信機器	携帯電話、PHS、外付けモデム、ターミナルアダプタなど

本機のどのコネクタに機器を接続するかは、機器が使用しているインターフェ イスによって異なります。また、機器によってインターフェイスが決まってい る訳ではありません。詳しくは、各機器のマニュアルをご覧ください。

✓ チェック? 本機がスリープ状態のときは、周辺機器を接続したり、接続していた機器を取り 外したりしないでください。本機の機器構成が変更されると、データが消えてし まうことがあります。

別売のキーボードやテンキーボードを使うには

シリアルコネクタ

シリアル対応機器を接続するためのコネクタです。一般的なコンピュータ用 語ではこれをシリアルポートと呼び、WindowsではCOM1やCOM2の名称 で呼んでいます。

パラレルコネクタ

別売のプリンタを取り付けるためのコネクタです。 パラレル対応機器であればプリンタ以外の機器も接続することができます。 なお、WindowsではプリンタポートまたはLPT1と呼んでいます。

マウス / テンキーボード用コネクタ

添付または別売のマウスやテンキーボードなどのPS/2タイプのオプションを 取り付けるためのコネクタです。

チェック!? マウスやテンキーボードを接続するときは、必ず、本機の電源を切ってから接続してください。



マウスとテンキーボードの両方を同時に接続したいときは、別売のYケーブル、またはマウスに添付されているYアダプタを使ってください。



システムの設定

セキュリティや省電力など、本機の使用環境の設定について説明します。設定方法をまちがえると正しく動作しなくなってしまうので、十分注意してください。

また、必要がある場合以外は設定値を変更しないでください。

BIOS セットアップメニュー

本機には、使用環境を設定するためにBIOSセットアップメニューが内蔵されています。

BIOSセットアップメニューを使ってできること

次のような設定ができます。

- ・現在の日付と時間の設定
- ・BIOSセットアップメニューで使用する言語の選択
- ・ハードウェア環境の確認と変更
- ・セキュリティの設定
- ・起動デバイスの起動順位の設定

BIOSセットアップメニューを使う

BIOSセットアップメニューの起動とメイン画面

1 電源を入れて「NEC」のロゴが表示されたらすぐに【F2】を押し続ける

次のようなメイン画面が表示されます。画面上では「PhoenixBIOS セットアップユーティリティ」と表示されます。

PhoenixBIOSセットアップユーティリティ					
メイン 詳細	セキュリティ	起動	終了		
システム時刻: システム日付: 言語: フロッピィディスクA: ▶ 内蔵HDD 内蔵CD/CD-RW システムメモリ: 拡張メモリ: CPUタイプ CPU速度 BIOSパージョン:	[hh:mms [yyyy/m [日本語 [1.44/1.3 [XXXXM [CD/CD XXXKB XXKB XXKB XXX XXXXXXXXXXXXXXXXXX	.s] m/dd] JP)] 25 Mb 3.5"] B] -RW] Mhz XXX-XXXX/XX	x x	項目ヘルブ 〈Tab〉キー、〈Shift- Tab〉キー、〈Enter〉 キーは、項目を選択 します	
F1 ヘルプ ↑↓項目の Esc 終了 ←→ メニ)選択 F5/F ューの選択 Enter	6 値の変更 ・▶サブメニュー	ーの選択	 F9 デフォルトの設定 F10 保存して終了	

BIOSセットアップメニューの基本操作

- ・操作はキーボードで行います。
- ・【 】 】でメニューを選び、【 】 】で設定項目を選びます。
- ・設定内容の値は【F5】F6】で変更します。

BIOSセットアップメニューを終了する

変更を保存して終了する

- 【F10】を押す セットアップ確認のダイアログボックスが表示されます。
 終了を中止したいときは【Esc】を押してください。
- **2**「はい」が選ばれていることを確認して【Enter】を押す 設定値が保存され、BIOSセットアップメニューが終了します。
- ・メニューバーの「終了」で「変更を保存して終了する」を選んでBIOSセットアップメニューを終了することもできます。
- ・変更を保存せずに終了したいときなどは、次の「メニューバーから終了す る」で終了してください。

メニューバーから終了する

【 】 『でメニューバーの「終了」を選ぶと、以下のメニューが表示されます。

変更を保存して終了する

変更内容を保存してBIOSセットアップメニューを終了します。

変更を保存せずに終了する

設定値を保存せずにBIOSセットアップメニューを終了します。設定の変更 を行った場合も、すべて無効にして終了します。

デフォルト値をロードする

すべての設定項目にデフォルト値を書き込みます。これによりBIOSセット アップメニューの設定値は工場出荷時の状態に戻ります。 変更を取り消す

すべての設定項目に対して変更前の値を読み込みます。BIOSセットアップ メニューは終了しません。

変更を保存する

変更値を保存します。BIOSセットアップメニューは終了しません。

バッテリリフレッシュ

バッテリリフレッシュはバッテリの機能を回復させるための機能です。バッテ リリフレッシュの詳しい手順については、PART1「バッテリ」の「バッテリリフ レッシュ(p.56)をご覧ください。

工場出荷時の値に戻す

- キーボードの【F9】を押す セットアップ確認のダイアログボックスが表示されます。
- **2**「はい」が選ばれていることを確認して【Enter】を押す デフォルト値を読み込みます。
- **3**キーボードの【F10】を押す セットアップ確認のダイアログボックスが表示されます。
- 4 「はい」が選ばれていることを確認して【Enter】を押す 設定の変更を保存して終了します。

メニューバーの「終了」で「デフォルト値をロードする」を選んで工場出荷時 の値に戻すこともできます。
設定項目一覧

ここでは、BIOSセットアップメニューでどのような設定ができるかを説明しています。

表中の は、購入時の設定です。

「メイン」メニューの設定

ぐチェック?「内蔵HDD / 内蔵CD / CD - RW」の設定を変更すると、内蔵ハードディスクが動作しなくなる場合があるので、通常は初期設定のまま使用してください。

設定項目 設定値		説明	
システム時刻 (時:分:秒)	-	現在の時刻を「時:分:秒(24時間形 式)で設定します。	
システム日付 (年 / 月 / 日)	-	日付を「年/月/日(西暦)で設定 します。「言語」を「英語」に設定して いる場合は、「月/日/年」で入力し ます。	
言語	English(US) 日本語(JP)	BIOSセットアップメニューで使用する 言語を設定します。標準では「日本語 (JP)」に設定されています。	
フロッピィディスクA	使用しない 1.44/1.25Mb 3.5"	フロッピーディスクドライブのモードを選 びます。「使用しない」の場合、フロッ ピーディスクドライブは使用できません。 「1.44/1.25Mb 3.5"」の場合、フロッピー ディスクドライブが使用できます。	
内蔵HDD/ 内蔵CD/CD-RW	-	現在接続されているIDEデバイスが 表示されます。この項目にカーソルを 合わせ【Enter】を押すと設定画面が 表示されます。表示できるのは「内蔵 HDD」の項目のみです。【Esc】を押 すとメイン画面に戻ります。	
タイプ	自動 ユーザ CD-ROM なし	BIOSが自動的にシリンダ、ヘッド、セ クタを設定します。設定は変更しない でください。	
32ビット1/0	使用しない 使用する	32ビットIDEデータ転送を使用するか どうかを設定します。	

設定項目	設定値	説明
システムメモリ	-	搭載されているシステムメモリ容量を 表示します。
拡張メモリ	-	搭載されている拡張メモリを表示します。
CPUタイプ	-	CPUタイプを表示します。
CPU速度	-	CPU速度を表示します。
BIOSバージョン	-	BIOSのバージョンを表示します。

「詳細」メニューの設定

設定項目	設定値	説明
起動時の Num-Lock	オン オフ	起動時にNum Lockをオンにするか を設定します。
NX パッド& PS/2マウス	使用しない 両方 自動	「自動」に設定すると、PS/2マウスを 接続したときにNXパッドが使用でき なくなります。「両方」に設定すると、 NXパッドとPS/2マウスを同時に使用 できます。USBマウスを使用するとき にNXパッドを無効にしたい場合は、 「使用しない」に設定します。
L C D パネルの拡 張表示	オフ オン	LCDパネルの拡大表示を行うかどう かを設定します。「オン」に設定する と、LCDパネルの最大表示サイズ以 下の表示画面では拡大されて表示さ れます。
セットアップ移行画 面表示	非表示表示	「表示」に設定すると、セットアップの 移行画面に関するメッセージが表示さ れます。
ハイバネーション警 告表示	非表示表示	ハイパネーション用ファイルがない、または容量不足の警告メッセージを表示するかどうかを設定します。
セットアップ情報画 面	使用しない 使用する	起動時にシステム設定状況を表示す るかどうかを設定します。
サイレントブート	自己診断画面 ロゴ画面 非表示	ブート時の画面を設定します。
ビデオメモリサイズ	2 M B 4 M B 8 M B	AGPビデオデバイスが使用するビデ オメモリサイズを設定します。設定に より使用可能な拡張メモリサイズも増 減します。

:BIOSセットアップメニューを起動する場合は、電源を入れた後、1秒おきに【F2】を押すことを 何度かくりかえしてください。

		±¥ =0	
設定項目	設定値	説明	
周辺機器設定	-	各周辺機器の設定を行います。この 項目にカーソルを合わせて【Enter】 を押すと設定を行うことができます。	
シリアルポート A	使用しない 使用する 自動	「使用しない」に設定すると、シリアル ポートは使用できません。「使用する」 に設定すると、ユーザが1/0ベースアド レスを設定できます。「自動」に設定す ると、BIOSが1/0ベースアドレスと割り 込み番号を自動的に設定します。	
1/0ベースアド レス	3F8 2F8 3E8 2E8	「シリアルポートA」を「使用する」に設定すると表示されます。シリアルポート に1/0ベースアドレスを設定します。	
パラレルポート	使用しない 使用する 自動	「使用しない」に設定すると、パラレル ポートは使用できません。「使用する」 に設定すると、ユーザがパラレルポートの「モード」「1/0ベースアドレス」 「DMAチャネル」を設定できます。「自動」に設定すると、BIOSが自動的に パラレルポートの設定を行います。	
モード	双方向 EPP ECP	パラレルポートのモードを設定します。	
1/0ベースアド レス	378 3 B C 278	パラレルポートを「使用する」に設定す ると表示されます。パラレルポートに1/ 0ベースアドレスを設定します。	
フロッピィコント ローラ	使用しない 使用する 自動	設定は変更しないで「使用する」のまま使用してください。	

「セキュリティ」メニューの設定

セキュリティに関する各種設定を行います

スーパバイザパスワードは、BIOSセットアップメニューの使用者を制限する ための機能です。

スーパバイザパスワードの設定を行うとBIOSセットアップメニュー起動時に パスワードの入力画面となり、設定されたスーパバイザパスワードを入力しな い限りBIOSセットアップメニューの起動はできません。

ユーザパスワードは、BIOSセットアップメニューの使用者を制限し、BIOS セットアップメニューで設定可能な項目も制限するための機能です

スーパバイザパスワードの設定

スーパバイザパスワードの設定または変更を行います。

【Enter】を押すとパスワード設定の画面が表示されるので設定を行ってください。

参照 パスワードの設定 PART1の「セキュリティ機能」の「パスワード (p.73)

ユーザパスワードの設定

ユーザパスワードの設定または変更を行います。

スーパバイザパスワードを設定していないとユーザパスワードは設定できま せん。

【Enter】を押すとパスワード設定の画面が表示されるので設定を行ってください。

参照 / パスワードの設定 PART1の「セキュリティ機能」の「パスワード (p.73)

設定項目	設定値	説明
起動時のパスワー	使用しない	システム起動時にパスワード入力を行
ド	使用する	うかどうかを設定します。
ハードディスク起動		ウイルス感染防止のため、ハードディ
セクタ		スク起動セクタを書き込み禁止にする
書込み禁止		かどうかを設定します。
ディスクアクセス	ユーザ スーパバイザ	「スーパバイザ」に設定すると、ユーザ パスワードで起動した状態ではフロッ ピーディスクドライブに対してアクセス できなくなります。

:スーパバイザパスワードを設定していないと「起動時のパスワード」は設定できません。

起動順位の設定

「起動」メニューでは起動するデバイスを優先順にしたがってリスト表示します。 パソコンを起動するときには、上から順にOSを検索します。もしOSが存在し ないなど起動に失敗した場合は次のデバイスから起動します。

起動デバイスの表示と順位の変更

デバイス名の左に + の表示があるデバイスにカーソルを合わせて【Enter】 を押すと展開表示されます。

起動するデバイスを変更するには【 】 を使用して変更したいデバイス にカーソルを合わせます。このキーと【Shift】を同時に押すとリストの上側に 移動し、こを押すとリストの下側に移動します。

なお、ニューメリックロックキーランプ(1)が点灯しているときには前面に【+】 【- 】の刻印のあるキーでもリストの上下にカーソルを移動させることができます。



付録

ここでは、本機の機能に関連した補足情報を記載してあります。

本機のお手入れ

ここでは、パソコンのお手入れの方法を説明しています。

お手入れをはじめる前に

⚠注意



お手入れの前には、必ずパソコンやパソコンの周辺機器の電源を切り、電源コードをACコンセントから抜いてください。 電源を切らずにお手入れをはじめると、感電することがあります。

準備するもの

汚れが軽いとき

やわらかい素材の乾いたきれいな布

汚れがひどいとき

水かぬるま湯を含ませ堅くしぼったきれいな布

OA機器用クリーニングキットも汚れを拭き取るのに便利です。 OA機器用クリーニングキットについてはご購入元、NECフィールディング の各支店、営業所などに問い合わせてください。

参照 NECのお問い合わせ先 『NEC PCあんしんサポートガイド』

お手入れをする

パソコンのお手入れをするときは、次のことに注意してください。

✓ チェック? ・水やぬるま湯は、絶対に本機に直接かけないでください。本機の傷みや故障の原因になります。

・シンナーやベンジンなどの揮発性の有機溶剤や化学ぞうきんなどは使わな いでください。本機の傷みや故障の原因になります。

液晶ディスプレイ

やわらかい素材の乾いたきれいな布で拭いてください。水やぬるま湯、揮発性の有機溶剤、化学ぞうきんは使わないでください。

本体 / NXパッド / キーボード

やわらかい素材の乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどいとき は、水かぬるま湯を布に含ませ、堅くしぼったきれいな布で拭きます。 キーボードのキーのすきまにゴミが入ったときは、専用のクリーナーなどでゴ ミを取ってください。ゴミが取れないときは、ご購入元、NECフィールディング の各支店、営業所に問い合わせてください。

参照 NECのお問い合わせ先 『NEC PCあんしんサポートガイド』

フロッピーディスクドライブ

クリーニングディスク(別売)を使ってフロッピーディスクドライブをクリーニン グします。ひと月に一回を目安にクリーニングしてください。

電源コード

電源コードのプラグを長時間にわたってACコンセントに接続したままにして いると、プラグにほこりがたまることがあります。定期的にほこりを拭き取るようにしてください。

補足情報

別売のUSBポートバー使用時の設定

Windows 98で、別売のUSBポートバー(PK-UP012N/PK-UP012NS) を使用するときの注意

Windows 98で、別売のUSBポートバー(10Base-Tインターフェイス付)(PK-UP012N/PK-UP012NS)を使用するときは、次の手順に従って設定を 行ってください。

別売のUSBポートバー(PK-UP012 / PK-UP012S)を使用する場合は、 以下の設定は必要ありません。

- 1 本機にUSBポートバーを接続する USBポートバーが自動的に認識され、汎用USBハブ、USB互換デバ イスドライバが自動的にインストールされます。
- **2**「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面に「次の新しいドライ バを検索しています:CATC NetMate2 Ethernet Adaptor」と表 示されたら、「キャンセル」ボタンをクリックする 次の各ドライバが自動的にインストールされます。
 - NEC USB to Serial
 - ・USB ヒューマンインターフェイスデバイス
 - NEC USB to Parallel
 - NEC USB COM Port
 - NEC USB LPT Port
- ここではLANドライバのインストールは行いません。次の手順3で行います。
 - 3 「スタート」ボタンをクリックし、「ファイル名を指定して実行」をク リックする
 - 4 「名前 欄に以下のように入力するか、またば 参照」ボタンをクリックして表示される「ファイル名の場所」で以下のファイルを選ぶC:¥0PTIONS¥0THER¥NEC¥PK-UP012¥SETUP.EXE

5 OK ボタンをクリックする LANドライバのインストールプログラムが起動します。

- 6 「NEXT ボタンをクリックする
- **7** ^rDisconnect the USB cable(if connected)from the CATC USB/Ethernet Link. と表示されたら USBポートバーを本機から 取り外して「OK」ボタンをクリックする
- ع Connect the USB cable to the CATC USB/Ethernet Link. الحر 表示されたら、USBポートバーを本機に接続する
- **9** This installation of the CATC USB Ethernet Link Software is complete. と表示されたら「Finish ボタンをクリックする

10 本機を再起動する

以上で設定は終了です。

別売のUSBハブに別売のUSBポートバーを接続するときの注意

別売のUSBハブ(PK-UP002またはPK-UP003)を2つ以上続けて接続し、 その2つ目以降のUSBハブに別売のUSBポートバー(PK-UP012/PK-UP012N / PK-UP012S / PK-UP012NS)を接続した場合、USBハブに 接続してある他の機器(USBポートバーも含む)が正常に動作しなくなること があります。この場合は、本機に取り付けた1つ目のUSBハブにUSBポート バーを接続してください。

サウンド機能について(Windows Meモデルのみ)

音楽CDを利用する

音楽CDを再生する

Windows Meでは、Windows Media Playerを使って音楽CDを再生するこ とができます。Windows Media Playerには、インターネットでCDのデータの 検索をしたり、音楽CD再生中に視覚エフェクトを表示させる機能もあります。

参照 / 音楽CDの再生について Windows Media Playerのヘルプ

本機では、音楽CDをデジタルで再生したり、アナログで再生することができます。購入時は、デジタルで再生するように設定されています。

- ✓ チェック! 音楽CDをデジタル再生で再生しているときに、ほかのアプリケーションを使用 すると、音楽CDの再生音が音飛びする場合があります。その場合は、ほかのア プリケーションを終了するか、音楽CDの再生方法をデジタル再生からアナログ 再生に変更してください。
 - 参照 音楽CDの再生方法を変更する 次の「音楽CDの再生方法の変更」

音楽CDをハードディスクにコピーする

Windows Media Playerの「CDオーディオ」の「音楽のコピー」で、音楽CD をハードディスクにコピーすることができます。

参照) 音楽CDのハードディスクへのコピーについて Windows Media Playerのヘ ルプ

本機では、ハードディスクに音楽CDをデジタルでコピーしたり、アナログでコ ピーすることができます。

参照 音楽CDのハードディスクへのコピー方法を変更する 「音楽CDからのコピー 方法の変更 (p.158)

音楽CDの再生方法の変更

次の手順で、音楽CDの再生方法をデジタル再生、またはアナログ再生のどちらかに設定することができます。

Windows Media Playerの場合

1 「スタート」ボタン 「プログラム」「Windows Media Player」 をクリックする Windows Media Playerが起動します

2 メニューバーの「ツール」「オプション」をクリックする

- **3**「CDオーディオ」タブをクリックし、「再生の設定」欄の「デジタル 再生」を設定したい再生方法にあわせて選択する
 - ・デジタル再生にする場合
 「デジタル再生」を「Cします。
 - アナログ再生にする場合
 「デジタル再生」を「にします。
- 4 「OK」ボタンをクリックする
- 5「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする 「システムのプロパティ」が表示されます。
- 6 「デバイスマネージャ」タブをクリックする
- 7「CD-ROM」の左の∃をクリックし、表示されたデバイス名をダブ ルクリックする CD-ROMデバイスのプロパティが表示されます。
- 8 「プロパティ」タブをクリックする
- 9 「デジタルCD再生」欄の「このCD-ROMデバイスでデジタル音 楽CDを使用可能にする」を設定したい再生方法にあわせて選択 する

 - アナログ再生にする場合
 一にします。
- 10「OK」ボタンをクリックする 設定した再生方法によって音楽CDの音量の調整方法が変わります。

4

付録

その他のプレイヤーの場合

Windows Media Player以外のプレーヤーでの音楽CDの再生方法を変 更するときは、「Windows Media Playerの場合<u>(</u>p.156)の手順5~10 を行ってください。

音楽CDからのコピー方法の変更

次の手順で、音楽CDからのコピー方法を設定することができます。

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」「Windows Media Player」 をクリックする Windows Media Playerが起動します
- 2 メニューバーの「ツール」「オプション」をクリックする
- **3**「CDオーディオ」タブをクリックし、「コピーの設定」欄の「デジタル コピー処理」を設定したいコピー方法にあわせて選択する
 - ・デジタルでコピーしたい場合
 「デジタルコピー処理 を ■にします。
 ・アナログでコピーしたい場合
 - 「 デジタルコピー処理 を一にします。
- 4 「音楽CDの再生方法の変更」の「Windows Media Playerの場合(p.156)の手順4~10を行う

設定した再生方法によって、音楽CDの音量の調整方法が変わります。 参照 音楽CDの再生音量の調整「音楽CDの音量を調整する(p.159) 音楽CDの音量を調整する

✓ チェック! 本機を再起動すると、再起動前にボリュームコントロールで調整した音量が調整前の音量に戻っている場合があります。この場合は、再度音量を調整してください。

再生音量を調整する

「音量の調整」画面で音楽CDの再生音量の調整をすることができます。音楽CDの再生音量の調整方法は、音楽CDの再生方法によって異なります。

購入時の状態では、音楽CDはデジタル再生するように設定されています。

参照 / 音楽CDの再生方法を変更するには「音楽CDの再生方法の変更 (p.156)

- 「スタート」ボタン「プログラム」「アクセサリ」「エンターテ イメント」「ボリュームコントロール」をクリックする 「音量の調整」画面が表示されます。
- 2 音楽CDの再生方法に応じて、「音量の調整」画面の以下の項目 の音量つまみを上下にドラッグして音量を調整する
 - デジタル再生に設定している場合
 「音量の調整」または「WAVE」
 - アナログ再生に設定している場合
 「音量の調整」または「CD Player」
- ✓ チェック? ・Windows Media Player以外のプレーヤーを使用する場合は、再生方法にか かわらず、「音量の調整」または「CD Player」で音量を調整してください。
 - ・「音量の調整」はスピーカから出力されるすべての音量を調整する項目です。 音楽CDの再生音量のみを調整したい場合は「WAVE」または「CD Player」で 調整してください。

録音音量を調整する

次の手順で、音楽CDからの録音音量を調整できます。

1 「音量の調整」画面のメニューバーの「オプション」「プロパ ティ」をクリックする 4

付録

- 2 「音量の調整」で「録音」を選択し、「表示するコントロール」で 「Stereo Mixer」にチェックを付けて「OK」ボタンをクリックする 「録音の調節」画面が表示されます。
- 3 「Stereo Mixer」の「選択」にチェックを付ける
- **4**「Stereo Mixer」の音量調整つまみを上下にドラックして録音音 量を調整する

▼チェック! 購入時、音楽CDからの録音はデジタル録音に設定されています。「録音の調節」の「CD Player」は、音楽CDからアナログで録音する場合の音量を調整する項目です。デジタル録音に設定しているときに「CD Player」を設定しても録音することはできません。

「CD Player」での録音は、音楽CDからの録音をアナログ録音に設定にすることで可能になります。次の手順で、音楽CDからの録音をアナログ録音に設定できます。

- ・音楽CDからの録音方法を変更する
 - 「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする
 「システムのプロパティ」が表示されます。
 - 2 「デバイスマネージャ」タブをクリックする
 - 3 「CD-ROM」の左の をクリックし、表示されたデバイス名をダブ ルクリックする CD-ROM デバイスのプロパティが表示されます。
 - 4 「プロパティ」タブをクリックする
 - 5 「デジタルCD再生」欄の「このCD-ROMデバイスでデジタル音 楽CDを使用可能にする」が「Cになっている場合は「にする
 - 6 「OK」ボタンをクリックする
 - **7**「0K」ボタンをクリックする
 - 8 「音楽CDの再生方法の変更 (p.156)の手順に従って、音楽 CDの再生方法をアナログ再生に変更する



仕様一覧

___の項目の仕様は、ご使用のモデルによって異なります。

機種名			VA70H/RX	VA70H/RS	
CPU			モバイル インテル Celeron™ プロセッサ 700MHz		
内	蔵キャッシュ	メモリ	32Kバイト		
セ	カンドキャッシ:	ュ火モリ	128Kバイト(CPU内蔵)		
	ROM		512Kバイト(BIOSほか)		
쏫	メインRAM	1	64Mバイト / 128Mバイト / 192Mバイト / 256Mバイト(システムバス100MHz対応)		
IJ		最大	256Mバイト(別売の増設RAMボード(128	BMバイト を2枚増設した場合)	
	ビデオRA	M	2M バイト / 4M バイト / 8M バイト ¹ (メイン	メモリを共用)	
	表示素子 2		バックライト付 14.1型TFTカラー液晶ディスプレイ (XGA)	バックライト付 12.1型TFTカラー液晶ディスプレイ (SVGA)	
	ウィンドウ		Trident Cyber BLADE i1		
表示機能	アクセラレータ		640×480ドット(26万色中256色/65536色/1677万色) 800×600ドット(26万色中256色/65536色/1677万色) 1024×768ドット(26万色中256色/65536色/1677万色) ³ 1280×1024ドット(26万色中256色/65536色) ⁴ 1600×1200ドット(26万色中256色/65536色) ⁴		
	別売のCRTディス ブレイ接続時 300×600ドット(26万色中256色/65536色/1677万色) 1024×768ドット(26万色中256色/65536色/1677万色) 1280×1024ドット(26万色中256色/65536色) 1280×1024ドット(26万色中256色/65536色) 1600×1200ドット(26万色中256色/65536色)		2 / 1677万色) 5色 / 1677万色) 36色 / 1677万色) 36色) 36色)		
	サウンドチップ		チップセット(VIA社製 82C686B)に内蔵		
サウン	PCM録音・再生 機能		内蔵 ステレオ、量子化8ビット/16ビット、サンプリングレート8KHz/11.025KHz/ 16KHz/22.05KHz/44.1KHz/48KHz)、全二重化対応		
ド	MIDI音源機能		内蔵 拡張WAVE Table音源 WAVE Table音源最大64音])		
機能	スピーカ・マイク		ステレオスピーカ・マイクロホン内蔵		
	サラウンド		エンハンスド・ステレオ機能、3Dポジショナ	トルサウンド	

機種名		VA70H/RX	VA70H/RS	
诵	LAN	なし/LAN内蔵(100BASE-TX/10BASE-T)		
回信機能	モデム	なし / モデム内蔵(データ転送速度 最大56kbps(K56flex/V.90)エラー訂正V.42/ MNP4データ圧縮V.42bis/MNP5)		
FE	接続電話 / PHS ケーブル	なし / ケーブル添付 携帯電話:9.6Kbpsデータ通信 / 9.6Kbps・28.8Kbpsパケット通信(DoPa) cdmaOne:14.4Kbpsデータ通信 / 64Kbpsパケット通信(PacketOne) PHS(NTTドコモ / アステル):32Kデータ通信 / 64Kデータ通信 PIAFS2.0) PHS(DDIポケット):32Kデータ通信 / 64Kデータ通信 (PIAFS2.1)		
	FAX	なし / 内蔵(データ転送速度 最大14.4K	bps(V.17)FAX制御クラス1)	
入力装	キーボード	本体との一体型、JIS標準配列、英数・かな)、Fnキー(ホットキー対応)、12ファンクショ ンキー・Windowsキー・アプリケーションキー・Num Lockキー・右AItキー・右Ctrlキー付		
置	ポインティングデバイス	NXパッド標準装備		
補助	フロッピーディス クドライブ	3.5型フロッピーディスクドライブ×1内蔵 モードに対応)	(720K/1.2M ⁵/1.44Mバイトタイプの3	
記	固定ディスクドライブ 6	約10Gバイト / 約15Gバイト / 約20Gバイ	イン 約30G バイト	
憶装置	CD-ROMドライブ・ CD-R/RWドライブ ⁷	 パブ・ CD-ROMドライブ/CD-R/RWドライブ ・CD-ROMドライブの場合 CAV方式、CD-DA(オーディオCD)CD-ROM MODE1/2、CD-ROM XAMODE2(FORM1/2)マルチセッション対応 最大24倍速(平均17倍速) データ転送速度はCD-ROMの最内周で10.3倍速、最外周で24倍速 ・CD-R/RWドライブの場合 読み込み最大24倍速 書き込み最大8倍速 書き換え最大4倍速 		
インターフェイス		マウス / テンキーボード(PS/2タイプミニDIN6ピン) パラレル(D-SUB25ピン) シ リアル(D-SUB9ピン、最高115.2Kbps対応)、ディスプレイ(アナログRGBセパレー ト信号出力、ミニD-SUB15ピン) USB × 2		
	サウンド関連	ライン入力、ステレオ、ミニジャック)へッ ミニジャック)マイク入力、モノラル、ミニジ ライン入力インピーダンス10k 入力し マイク入力インピーダンス2.2k 入力 ライン出力レベル1Vrms	ドホン出力 / ライン出力共用(ステレオ、 ジャック) →ベル1Vrms レベル5mVrms(バイアス2.5V)	
PCカードスロット		TYPE ×2スロット(TYPE ×1スロットとしても使用可) [®] PC Card Standard準拠、CardBus対応		
パ	フーマネージメント	自動または任意設定可能		
セキュリティ機能		ユーザバスワード機能、スーパバイザパスワード機能、 盗難防止ロック(市販の 盗難 防止用ケーブルを使用) スマートカード(別売) ⁹ 、指紋リーダ(別売)		
バッテリ駆動時間 10		約1.2~1.9時間		
バッテリ充電時間 10		約4.0/3.0時間 ON/OFF時)		
バッテリによるスタン バイ状態保持時間 ¹⁰		約3日(バッテリフル充電時)		
電源		ニッケル水素バッテリ(DC9.6V、3,800mAh) ¹¹ またはAC100V ±10%、50/60Hz (ACアダプタ経由) ¹²		
消費電力		約17\\(内蔵オプション最大接続時 約60\\)		
温湿度条件		5~35 、20~80% でただし、結露しないこと)		
外	形寸法	310(W)×256(D)×39~44(H)mm	308(W)×254(D)×39~44(H)mm	
質量 10		約3.3kg	約3.2kg	

- 1:BIOSセットアップメニューで選択可能(購入時の設定は4Mパイトです)。 2:液晶ディスプレイは消耗品です。液晶ディスプレイでは、明るさのむらや、微細な斑点が現れることがありますが、故障ではありません。 また、輝度の調節具合、表示モードと表示データの組み合わせによってはムラやちらつき、微細な斑点が現れることがありますが、故障で はありません。
- 3:12型モデルでは、バーチャルスクリーン表示
- 4 :パーチャルスクリーン表示 5 :Windows Me, Windows 2000では3モード対応フロッピーディスクドライバのセットアップが必要です。
- 6:固定ディスク容量は、16パイを10億パイ・で計算した場合の数値です。05から認識できる容量は、実際の値より少なく表示されることが あります。 7 : Orange Book Part2(CD-R)およびPart3(CD-RW)に準拠。
- 8 :Windows 98のMS-DOSモードでは使用できません。 9 :Windows Me、Windows 2000を除く
- 10:時間や質量は、本機のご利用状況やオプションの接続により変わる場合があります。
- 11: パッテリパックは消耗品です。 12: ACアダプタ自体は、入力電圧AC240Vまでの安全認定を取得していますが、添付の電源コードは100V用(日本仕様)です。
- 13:18~25、45~75%での使用を推奨。

内蔵FAXモデム機能仕様

内蔵FAXモデム機能は、FAXモデム内蔵モデルのみの機能です。

機能概要

CPU I/F	PCIローカルバスインターフェイス
NCU部	・ダイヤルパルス送出機能
	・リンガ検出機能
モデムチップセット部	・115.2Kbpsまでのデータ・モデム・スループット
	K56flex, V.90
	V.34
	V.32bis
	V.32, V.22bis, V.22, V.21
	V.42LAPMおよびMNP2-4エラー訂正
	V.42bisおよびMNP5データ圧縮
	・最高14.4Kbpsのファックス・モデム送受信速度
	V.17、V.29、V.27ter、V.21チャンネル2
	・HayesATコマンドセット準拠
	ATコマンド
	Sレジスタ
	・回線品質モニタリングおよびオートリトレイン
	・受信ライン信号品質に基づく自動ライン・スピード選択
	・フロー制御およびスピード・バッファリング
	・パラレル非同期データ
	・自動ダイヤルおよび自動アンサー
	・トーンおよびパルスダイヤリング
	(DTMFトーン、ダイヤルパルス制御)
	(リエミトーン、ダイヤルハルス制御)

FAX機能

項目	規格
交信可能ファクシミリ装置	ITU-T G3ファクシミリ装置
適用回線	加入電話回線
同期方式	半二重調歩同期方式
通信速度	14400/12000/9600/7200/4800/2400/300bps
通信方式	ITU-T V.17/V.29/V.27ter/V.21ch2
変調方式	QAM:14400/12000/9600/7200bps
	DPSK:4800/2400bps
	FSK:300bps
送信レベル	-9~-15dBm(出荷時-15dBm)
受信レベル	-10~-40dBm
制御コマンド	EIA-578拡張ATコマンド(CLASS 1)

回線状態によって通信速度が変わる場合があります。

データモデム機能

項目	規格	
適用回線	加入電話回線	
同期方式	全二重調步同期方式	
通信速度	送受信 33600/31200/28800/26400/24000/21600/19200/16800/	
	14400/12000/9600/7200/4800/2400/1200/300bps ¹	
	受信 56000/54666/54333/54000/52000/50666/50000/49333/	
	48000/46666/46000/45333/44000/42666/42000/41333/40000/	
	38666/38000/37333/36000/34666/34000/33333/32000/30667/	
	29333/28000bps ¹	
通信規格	K56flex ITU-T V.90/V.34/V.32bis/V.32/V.22bis/V.22/V.21	
変調方式	TCM:56000/54666/54333/54000/52000/50666/50000/49333/	
	48000/46666/46000/45333/44000/42666/42000/41333/40000/	
	38666/38000/37333/36000/34666/34000/33600/33333/32000/	
	31200/30667/29333/28800/28000/26400/24000/21600/1920	
	16800/14400/12000/9600/7200bps	
	QAM:9600/7200bps	
	DPSK:4800/2400/1200bps	
	FSK:1200/300bps	
エラー訂正	ITU-T V.42(LAPM)	
	MNP class4	
データ圧縮	ITU-T V.42bis	
	MNP class5	
送信レベル	-9~-15dBm(出荷時-15dBm)	
受信レベル	-10~-40dBm	
制御コマンド	HayesATコマンド準拠 ²	

1 回線状態によって、通信速度が変わる場合があります。

2 ATコマンドについては、以下のファイルを参照

・Windows Me/Windows 98の場合

C:\#Windows\#SCmodem\#Atc\#Html\#Atc000.HTM

・Windows 2000の場合

C:\#WINNT\#SCmodem\#Atc\#Html\#Atc000.HTM

NCU機能

項目	規格
適用回線	加入電話回線
ダイヤル形式	パルスダイヤル(10/20PPS)
	トーンダイヤル(DTMF)
NCU形式	AA(自動発信/ 自動着信型)
制御コマンド	HayesATコマンド準拠
	EIA-578拡張ATコマンドAT(class 1)

携帯電話 / PHS 接続機能仕様

携帯電話 / PHS接続機能は、携帯電話 / PHS接続ケーブルが添付の場合、または別売の携帯電話 / PHS接続ケーブルを別途購入された場合の み使用できます。

個別仕様

種類	項目	規格
	適用回線	移動電話回線(PHS後位16芯)
モ / アステル)	通信速度	PIAFS 32Kデータ通信: 29.2kbps(実効値)
接続ケーブル		PIAFS 64Kデータ通信: 58.4kbps(実効値)
PHS(DDIポケッ ト)接続ケーブル	適用回線	移動電話回線(PHS後位12芯)
	通信速度	PIAFS 32Kデータ通信: 29.2kbps(実効値)
		PIAFS 64Kデータ通信: 58.4kbps(実効値)
携帯電話 (DoPa/PDC) 接続ケーブル	適用回線	移動電話回線 PDC5式携帯電話端末後位16芯)
	通信速度	9.6kbps(データ通信)9.6kbps(パケット通信) 28.8kbps(パケット通信)
cdmaOne 接続ケーブル	適用回線	移動電話回線(CDMA方式携帯電話端末後位18芯)
	通信速度	14.4kbps(データ通信) 64kbps(パケット通信)

共通仕様

項目	規格
制御コマンド	ATコマンド
網制御機能	A A

:ATコマンドについては、以下のファイルを参照

Windows Me/Windows 98の場合:

C: ¥Windows ¥SCmodem ¥Atc¥Html¥Atc000.HTM

Windows 2000の場合:

C:¥WINNT¥SCmodem¥Atc¥HtmI¥Atc000.HTM

内蔵LAN機能仕様

内蔵LAN機能は、LAN内蔵モデルのみの機能です。

規格概要

項目	規格概要
準拠規格	ISO 8802-3, IEEE802.3, IEEE802.3u
ネットワーク形態	スター型ネットワーク
伝送速度	100BASE-TX使用時:100Mbps
	10BASE-T使用時:10Mbps
伝送路	100BASE-TX使用時:UTPカテゴリ5
	10BASE-T使用時:UTPカテゴリ3、4、5
信号伝送方式	ベースバンド伝送方式
ステーション台数	最大1024台 / ネットワーク
ステーション間距離	100BASE-TX :最大約200m/ステーション間
ネットワーク経路長	10BASE-T : 最大約500m / ステーション間
	最大100m / セグメント
メディアアクセス制御方式	CSMA/CD方式

:リピータの台数など、条件によって異なります。

割り込みレベルとDMAチャネル

パソコンで使用できる周辺機器は、すべて「リソース」というものを使用しています。リソースには、大きく分けて「割り込みレベル(IRQ)」 DMAチャネ ル」などがあります。

割り込みレベルとDMAチャネルについて

パソコンで使用できる周辺機器は、すべて「リソース」というものを使用してい ます。リソースには、大きく分けて「割り込みレベル(IRQ)」 DMAチャネル」 などがあります。

これらのリソースは、それぞれの機器ごとに違う設定をしなければなりません。リソースが複数の機器に割り当てられている状態(リソースの競合)では、 機器が正常に使用できないばかりか、システム全体の動作も不安定になってしまいます。

割り込みレベル

「割り込みレベル(IRQ)」は、複数の機器から同時にCPUにアクセスしたときに、どのような順序で処理していくかを決めるものです。このパソコンでは、 工場出荷時には次のように割り当てられています。

IRQ	インターフェイス	IRQ	インターフェイス
0	システムタイマ	6	フロッピーディスクコントローラ
1	キーボード	7	プリンタポート
2	割り込みコントローラ	8	システムクロック
3	(空き)	9	ACPI用システム割り込み
4	通信ポート	10	カードバス
5	サウンド	11	(空き)
	PCIステアリングホルダー	12	NXパッド
	内蔵FAXモデム ¹	13	数値データプロセッサ
	内蔵LANインターフェイス ²	14	IDEコントローラ(内蔵ハードディスク)
	アクセラレータ	15	IDEコントローラ(内蔵CD-ROM)
	USBホストコントローラ		

1: FAXモデム内蔵モデルのみ

2: LAN内蔵モデルのみ

DMAチャネル

「DMAチャネル」は、CPUを経由せずに周辺機器とメモリとのデータのやり 取りを制御する機能のことです。本機では、工場出荷時には次のように割り 当てられています。

DMA	インターフェイス		
	デフォルト	プリンタポートをECP で使用する場合 (#1使用時)	プリンタポートをECP で使用する場合 (#3使用時)
# 0	(空き)		
# 1	(空き)	E C P	(空き)
#2	フロッピーディスクコントローラ		
#3	(空き)		E C P
# 4	DMAコントローラ		



索 引

英字

あ行

アクセスランプ
【インターネット】ボタン 16, 21
液晶ディスプレイ 16,46
オーディオ入力端子 16, 101
お手入れ152
音量調節つまみ16

か行

解像度 47, 48
外部CRT用コネクタ 17, 101, 120
外部ディスプレイ119
外部マイクロホン端子 16, 101
輝度46
起動順位の設定149

起動セクタへのウイルス感染防止77
キーボード 16, 24, 138
キャップスロックキーランプ20
休止状態 60,64
休止状態から復帰65
クリック 27
クリックボタン 27
携帯電話/PHS接続機能 86,166
コントロールパネル5

さ行

サウンド機能78
サスペンド 60, 63
指紋認証ユニット76
充電54
周辺機器 100, 102
省電力機能 60
シリアルコネクタ17, 101, 138
シリアルマウス 113
スーパバイザパスワード 73, 148
スクロールロックキーランプ20
スタンバイ状態 60, 63
スタンバイ状態から復帰65
スピーカ 16
スマートカード76
スリープ状態60
セキュリティ機能73
増設RAMボード128

た行

タイマ機能	72
ダイヤル設定 82,	87
タップ	27
ダブルクリック	27
通風孔	16
デバイスドライバ1	05
デュアルディスプレイ	51
テンキーボード 138,	139

な行

内蔵マイクロホン	16
内蔵モデム 80, 1	64
ニューメリックロックキーランプ	20
ネットワークブート	95

は行

バーチャルスクリーン 48
ハードディスク 32
ハイバネーション 60, 64
パスワード73
バッテリ
バッテリアンロック 18, 59
バッテリ残量 55
バッテリ充電ランプ 19
バッテリのメモリ効果56
バッテリパック 16, 18, 59
バッテリパックの交換 58
バッテリリフレッシュ56
パラレルコネクタ 17, 101, 107, 139
非常時ディスク取り出し穴 44
表示色 47, 48
表示ランプ16,19
フォーマット 34, 35
復帰65
プラグ&プレイ106
プリンタ107
プロジェクタ120
フロッピーディスクアクセスランプ 20
フロッピーディスクイジェクトボタン 39

フロッピーディスクドライブ 17, 39
ヘッドホン / オーディオ出力端子 . 16, 101
ポインタ27
ホットキー機能 26
ボリュームコントロール

ま行

マウス10
マウス / テンキーボード用コネクタ . 17, 101, 13
【メール】ボタン 16, 2
メモリ12
メモリスロット 18, 101, 12
モデム 80, 16

や行

ユーザパスワード	73,	148
ユニバーサル管理アドレス		. 94

ら行

リソースの競合	103
リモートパワーオン機能	72
領域の確保 33,	35
リング機能	72
レジューム	65
ロックレバー	16

わ行

割り込みレベル	168
ワンタッチスタートボタン	. 21



活用ガイド ハードウェア編

PC98-NX SERIES

VersaPro

VA70H/RX · VA70H/RS

初版 2001年5月 NEC P 853-810028-139-A